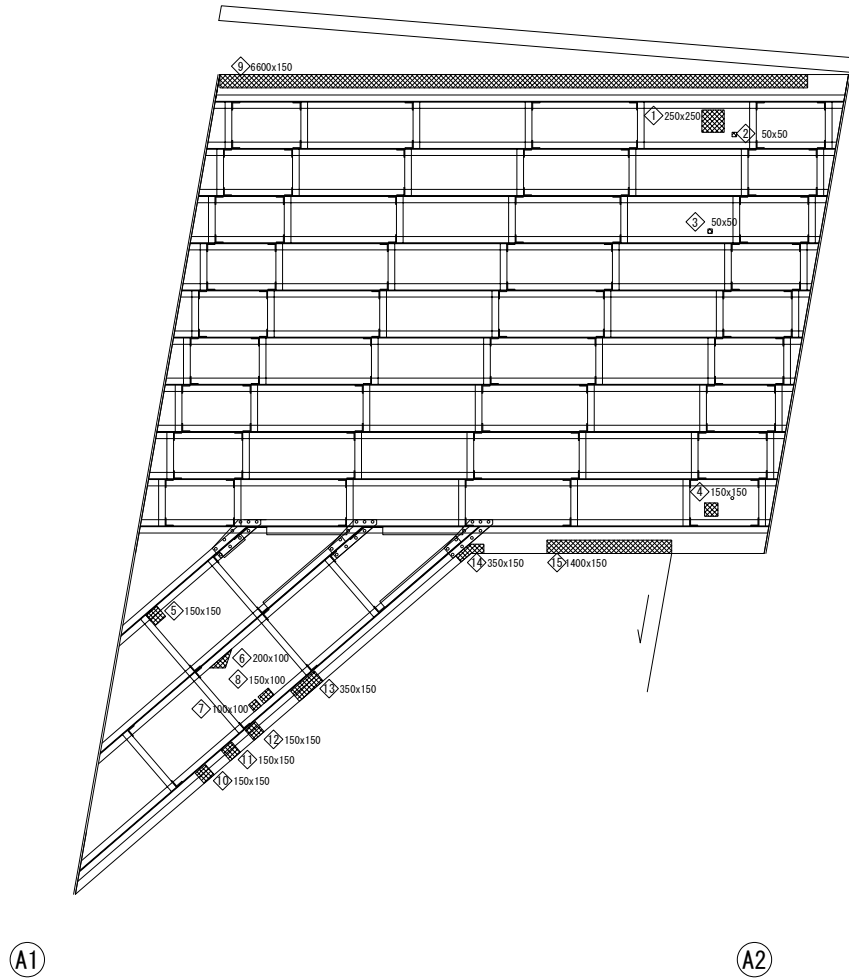


No.		図面番号	枚数	備考
001	九条南小橋 補修一般図	1	1	
002	九条南小橋 補修詳細図(その1)	2	1	断面修復工
003	九条南小橋 補修詳細図(その2)	3	1	断面修復工
004	九条南小橋 補修詳細図(その3)	4	1	断面修復工
005	九条南小橋 補修詳細図(その4)	5	1	断面修復工
006	九条南小橋 補修詳細図(その5)	6	1	橋梁塗装工
007	九条南小橋 補修詳細図(その6)	7	1	鋼桁補強工
008	九条南小橋 補修詳細図(その7)	8	1	鋼桁補強工
009	九条南小橋 補修詳細図(その8)	9	1	鋼桁補強工
010	九条南小橋 補修詳細図(その9)	10	1	鋼桁補強工
011	九条南小橋 補修詳細図(その10)	11	1	鋼桁補強工
012	九条南小橋 補修詳細図(その11)	12	1	支承部防食工
013	九条南小橋 補修詳細図(その12)	13	1	支承部防食工
014	九条南小橋 補修詳細図(その13)	14	1	御影石撤去工
015	九条南小橋 補修詳細図(その14)	15	1	排水施設工
016	九条南小橋 仮設工図(参考図)	16	1	
017	九条北小橋 補修一般図	17	1	
018	九条北小橋 補修詳細図(その1)	18	1	断面修復工
019	九条北小橋 補修詳細図(その2)	19	1	断面修復工
020	九条北小橋 補修詳細図(その3)	20	1	断面修復工
021	九条北小橋 補修詳細図(その4)	21	1	断面修復工
022	九条北小橋 補修詳細図(その5)	22	1	橋梁塗装工
023	九条北小橋 補修詳細図(その6)	23	1	当て板補修工
024	九条北小橋 補修詳細図(その7)	24	1	当て板補修工

No.		図面番号	枚数	備考
025	九条北小橋 補修詳細図(その8)	25	1	鋼桁補強工
026	九条北小橋 補修詳細図(その9)	26	1	鋼桁補強工
027	九条北小橋 補修詳細図(その10)	27	1	鋼桁補強工
028	九条北小橋 補修詳細図(その11)	28	1	支承部防食工
029	九条北小橋 補修詳細図(その12)	29	1	支承部防食工
030	九条北小橋 仮設工図(参考図)	30	1	
031	仙谷橋 補修一般図	31	1	
032	仙谷橋 補修詳細図(その1)	32	1	断面修復工
033	仙谷橋 補修詳細図(その2)	33	1	断面修復工
034	仙谷橋 補修詳細図(その3)	34	1	水切り設置工
035	仙谷橋 仮設工図	35	1	
036	渡瀬橋 補修一般図	36	1	
037	渡瀬橋 補修詳細図	37	1	ひび割れ充填工
038	渡瀬橋 仮設工図(参考図)	38	1	

九条南小橋 補修詳細図 (その2) S=1:30

断面修復工
床版



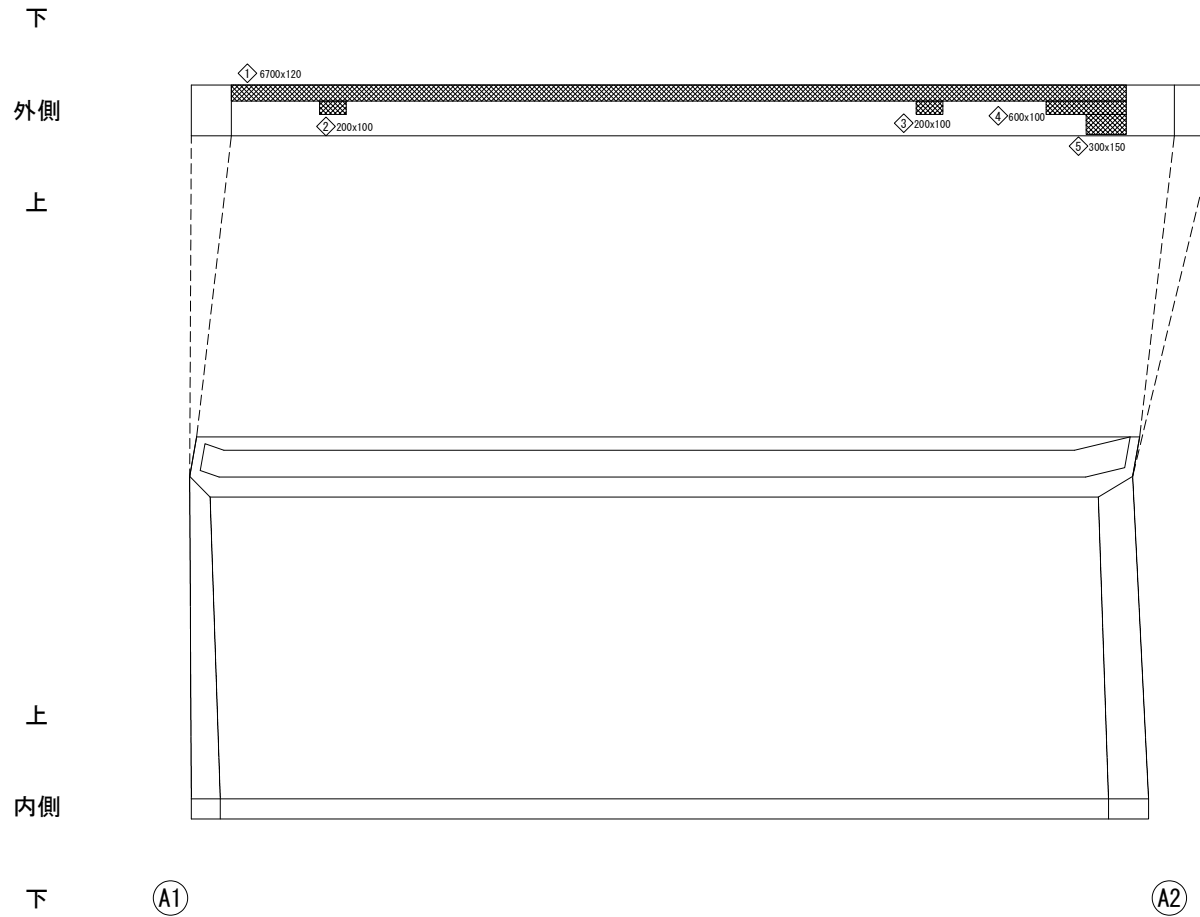
補修 凡例	
損傷の種類	表示
断面修復工	

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	3/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条南小橋 補修詳細図 (その3) S=1:20

断面修復工

L側 地覆 展開図



補修 凡例

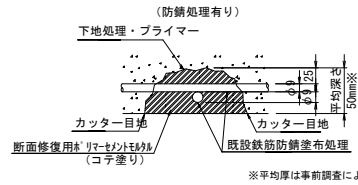
損傷の種類	表示
断面修復工	

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その3)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	4/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条南小橋 補修詳細図 (その4) S=1:20

断面修復工

断面修復工詳細図



※平均厚は事前調査により設定

断面修復工特記事項

1. 施工に先立ち、補修箇所、数量を必ず再確認すること。
2. 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
3. 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
4. 断面修復の平均厚決定について
断面修復の平均厚の決定は、施工完了後の空袋・充填の数量により決定すること。
空袋・充填については、監督職員の了承を得ること。
5. 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

断面修復工

上部工(主桁)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)
①	有	6.400	0.200	0.050	1.280	0.0640
②	有	0.650	0.200	0.050	0.130	0.0065
③	有	1.500	0.200	0.050	0.300	0.0150
④	有	0.150	0.180	0.050	0.027	0.0014
⑤	有	0.250	0.150	0.050	0.038	0.0019
⑥	有	0.150	0.100	0.050	0.015	0.0008
⑦	有	0.250	0.100	0.050	0.025	0.0013
⑧	有	0.250	0.070	0.050	0.018	0.0009
⑨	有	0.400	0.200	0.050	0.080	0.0040
⑩	有	0.250	0.100	0.050	0.025	0.0013
⑪	有	0.250	0.200	0.050	0.050	0.0025
⑫	有	0.300	0.150	0.050	0.045	0.0023
⑬	有	0.350	0.200	0.050	0.070	0.0035
⑭	有	0.250	0.100	0.050	0.025	0.0013
⑮	有	0.200	0.100	0.050	0.020	0.0010
合計 (防錆処理有)					2.148	0.1077

断面修復工

上部工(床版)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)
①	有	0.250	0.250	0.050	0.063	0.0032
②	有	0.050	0.050	0.050	0.003	0.0002
③	有	0.050	0.050	0.050	0.003	0.0002
④	有	0.150	0.150	0.050	0.023	0.0012
⑤	有	0.150	0.150	0.050	0.023	0.0012
⑥	有	0.200	0.100	0.050	0.020	0.0010
⑦	有	0.100	0.100	0.050	0.010	0.0005
⑧	有	0.150	0.100	0.050	0.015	0.0008
⑨	有	6.600	0.150	0.050	0.990	0.0495
⑩	有	0.150	0.150	0.050	0.023	0.0012
⑪	有	0.150	0.150	0.050	0.023	0.0012
⑫	有	0.150	0.150	0.050	0.023	0.0012
⑬	有	0.350	0.150	0.050	0.053	0.0027
⑭	有	0.350	0.150	0.050	0.053	0.0027
⑮	有	1.400	0.150	0.050	0.210	0.0105
合計 (防錆処理有)					1.535	0.0773

断面修復工

橋面(L側 地覆)

番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m2)	体積(m3)
①	有	6.700	0.120	0.050	0.804	0.0402
②	有	0.200	0.100	0.050	0.020	0.0010
③	有	0.200	0.100	0.050	0.020	0.0010
④	有	0.600	0.100	0.050	0.060	0.0030
⑤	有	0.300	0.150	0.050	0.045	0.0023
合計 (防錆処理有)					0.949	0.0475

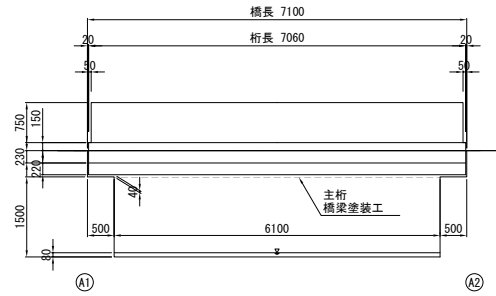
断面修復工 合計

工種	種別	仕様	単位	数量	備考
断面修復工 左官工法 (防錆処理有)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	上部工	m3	0.185
		U-リペアパッチAP同等品以上	橋面工	m3	0.0475

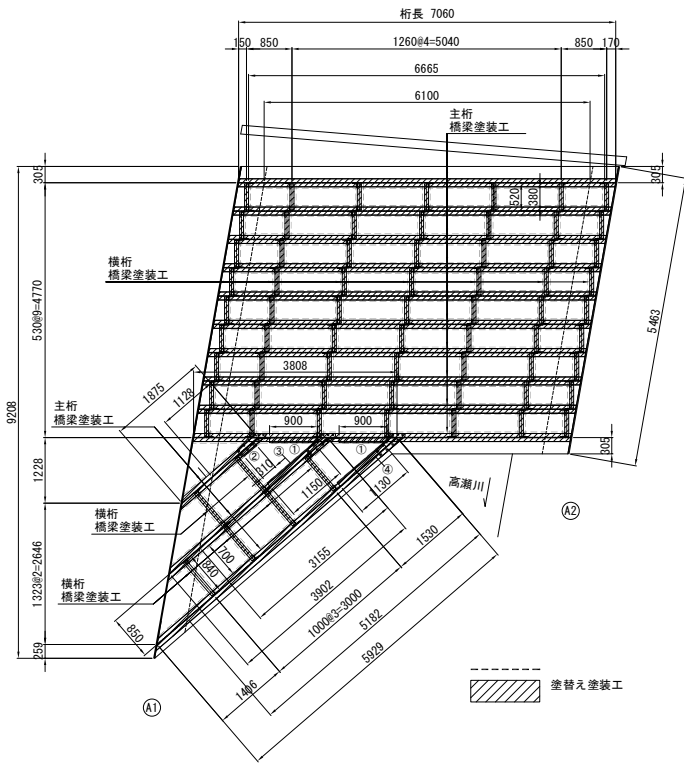
工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その4)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	5/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条南小橋 補修詳細図(その5)

側面図 S=1:50



平面図(桁下) S=1:50

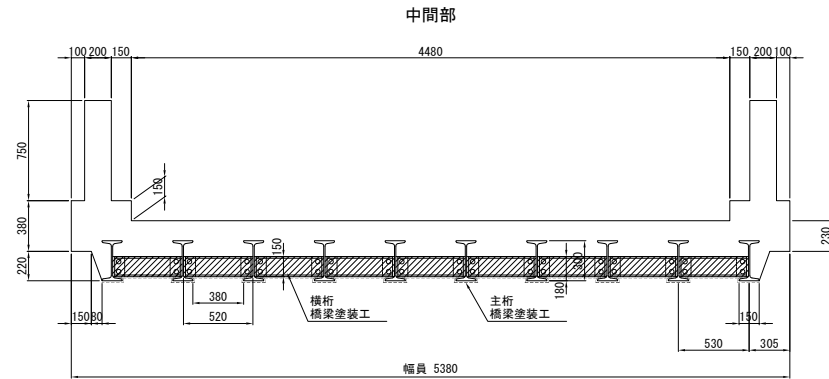


橋梁塗装工

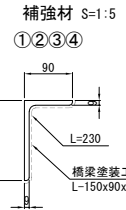
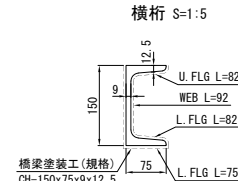
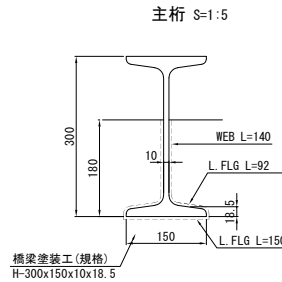
名称	仕様・寸法	単位	数量	備考
橋梁塗装工	上塗り	m ²	58.81	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料
	中塗り	m ²	58.81	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗
	下塗り	m ²	58.81	錆転換型特殊工ポキ樹脂系下塗り塗料(サビバリヤー同等品以上)
	素地調整	m ²	58.81	2種ケレン相当
	塗膜剥離剤	m ²	58.81	STRIPPER同等品以上

橋梁塗装工

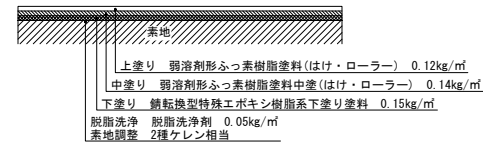
上部工断面図 S=1:20



部材詳細図



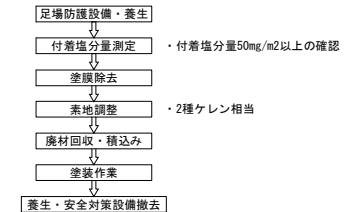
塗装要領図及び塗装仕様



塗装工程	仕様	使用量	塗膜厚さ	日数
1 素地調整	2種ケレン相当	-	-	-
2 脱脂洗浄	脱脂洗浄剤	0.05kg/m ²	-	1日
3 下塗り	錆転換型特殊工ポキ樹脂系下塗り塗料	0.15kg/m ²	70μm	-
4 中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.14kg/m ²	30μm	1日
5 上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	0.12kg/m ²	25μm	1日

素地調整の前に、塗膜除去工を施工すること。

施工フロー



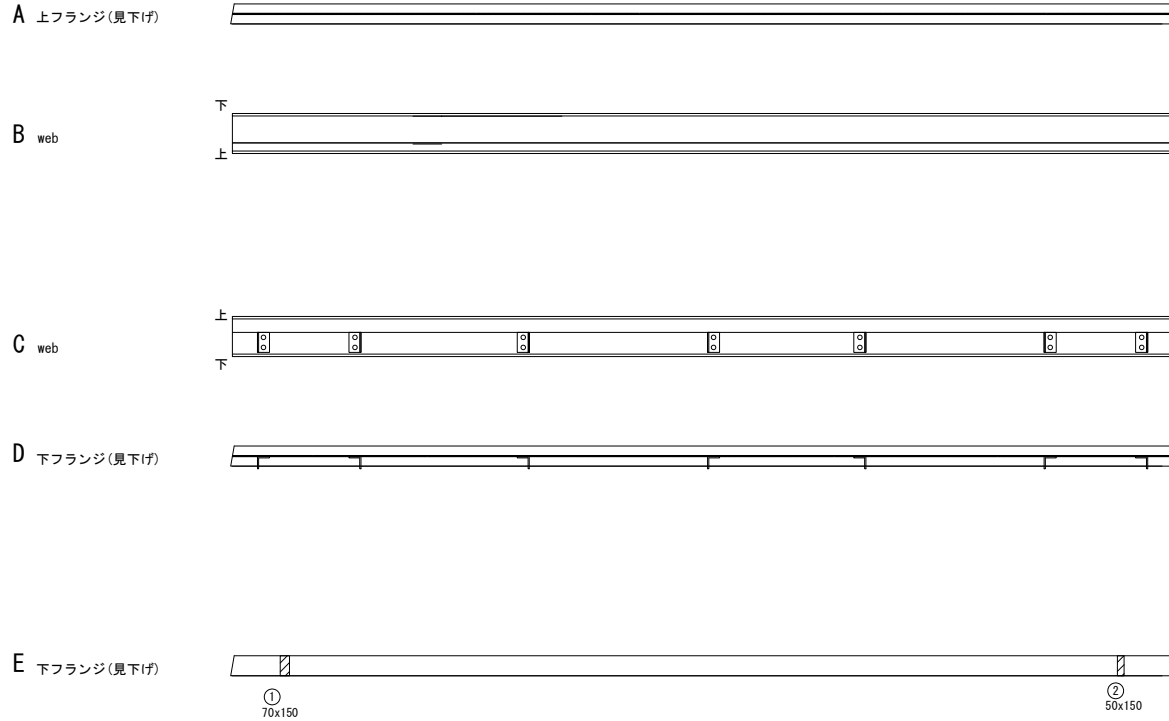
工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その5)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	6/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条南小橋 補修詳細図(その6)

S=1:20

鋼桁補強工

G1 主桁 展開図



A1

A2

補修面積表

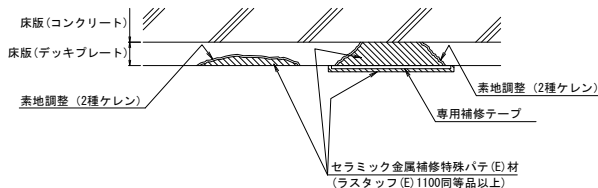
G1主桁					
番号	損傷範囲		損傷面積 (m ²)	補修面積 (m ²)	備考
	幅(mm)	長さ(mm)			
①	70	× 150	0.01	0.01	
②	50	× 150	0.01	0.01	
合計			0.02	0.02	

鋼板部分補修工

(A1-A2径間)

名称	仕様	単位	数量	備考
セラミック金属パテ	(ラスタップ(E)1100同等品以上)	m ²	0.02	t=2mm

セラミック金属パテ補修工要領図

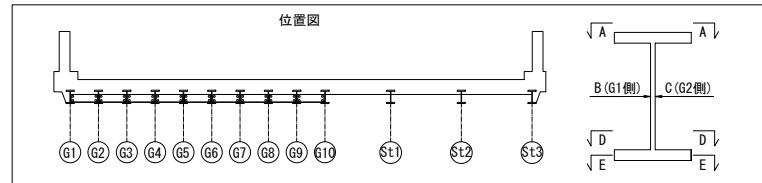


補修 凡例	
損傷の種類	表示
鋼板部分補修工	(n)

セラミック金属補修パテ(E)材 基本物性	
項目	試験結果
引張接着強さ	23.6N/mm ²
耐磨耗性(磨耗輪法)	52.0mg
ロッキング硬度R ₃ スケール	115
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

注)

- 施工前に必ず現地寸法を確認し、対象範囲及び数量を協議のうえ施工すること。
- 施工時の交通規制は、可能な限り供用可能とすること。
- パテ補修部の素地調整については2種ケレン以上とし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
- 素地調整後は、速やかにパテを塗布すること。
- 床版デッキプレート孔食部のセラミック金属補修パテは、床版コンクリート面への接着は構造上期待しないものとする。
- 金属パテ補修部は、塗装前にサンドペーパーにて表面を目粗しすること。なお、塗装の詳細は別図を参照すること。



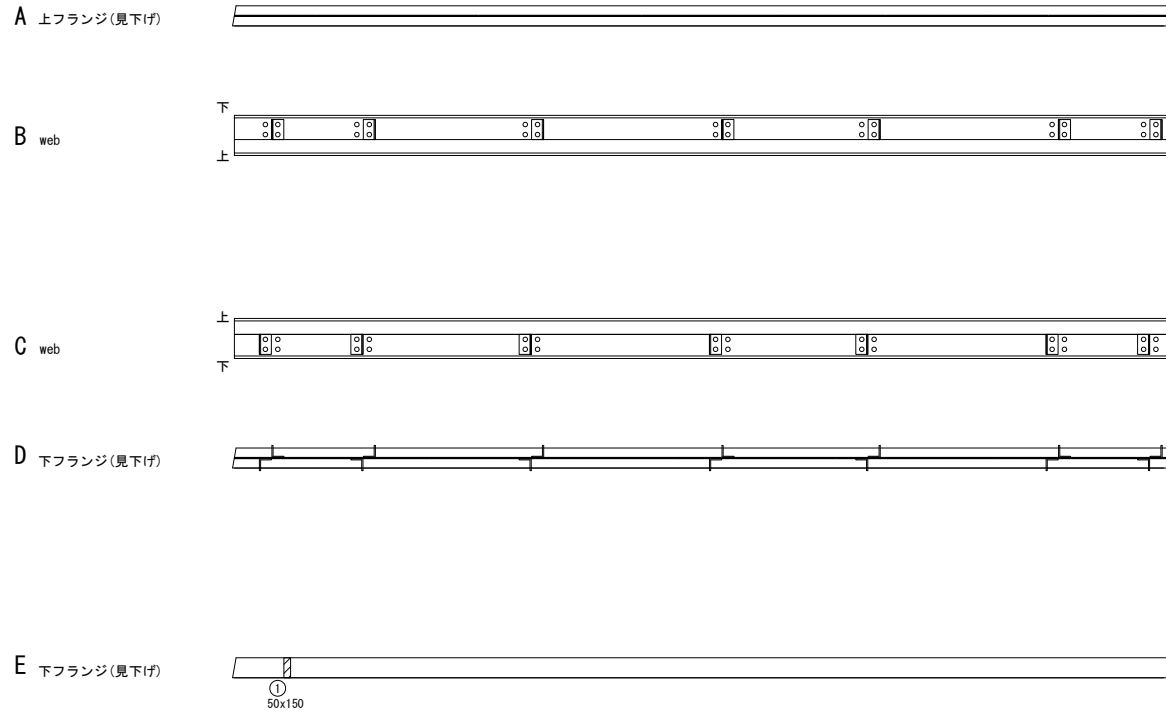
工事名	九条南小橋他3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その6)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	7/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

九条南小橋 補修詳細図(その7)

S=1:20

鋼桁補強工

G9 主桁 展開図



(A1)

(A2)

補修面積表

番号	損傷範囲		損傷面積 (m ²)	補修面積 (m ²)	備考
	幅(mm)	長さ(mm)			
①	50	150	0.01	0.01	
合計			0.01	0.01	

鋼板部分補修工

(A1-A2径間)

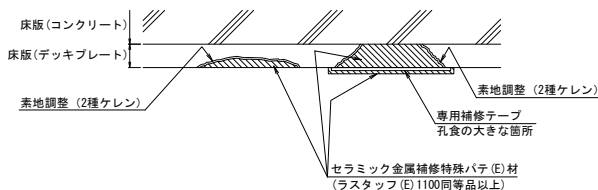
名称	仕様	単位	数量	備考
セラミック金属パテ	(ラスタップ(E)1100同等品以上)	m ²	0.01	t=2mm

セラミック金属パテ補修工要領図

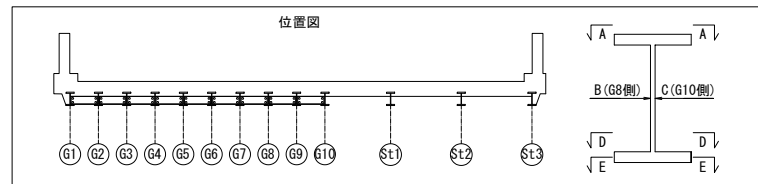
注)

項目	試験結果
引張接着強さ	23.6N/mm ²
耐磨耗性(磨耗輪法)	52.0mg
ロクカール硬度R ₃ スケール	115
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、対象範囲及び数量を協議のうえ施工すること。
2. 施工時の交通規制は、可能な限り供用可能とすること。
3. パテ補修部の素地調整については2種ケレン以上とし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
4. 素地調整後は、速やかにパテを塗布すること。
5. 床版デッキプレート孔食部のセラミック金属補修パテは、床版コンクリート面への接着は構造上期待しないものとする。
6. 金属パテ補修部は、塗装前にサンドペーパーにて表面を目粗しすること。なお、塗装の詳細は別図を参照すること。



補修 凡例	表示
損傷の種類	
鋼板部分補修工	(n)

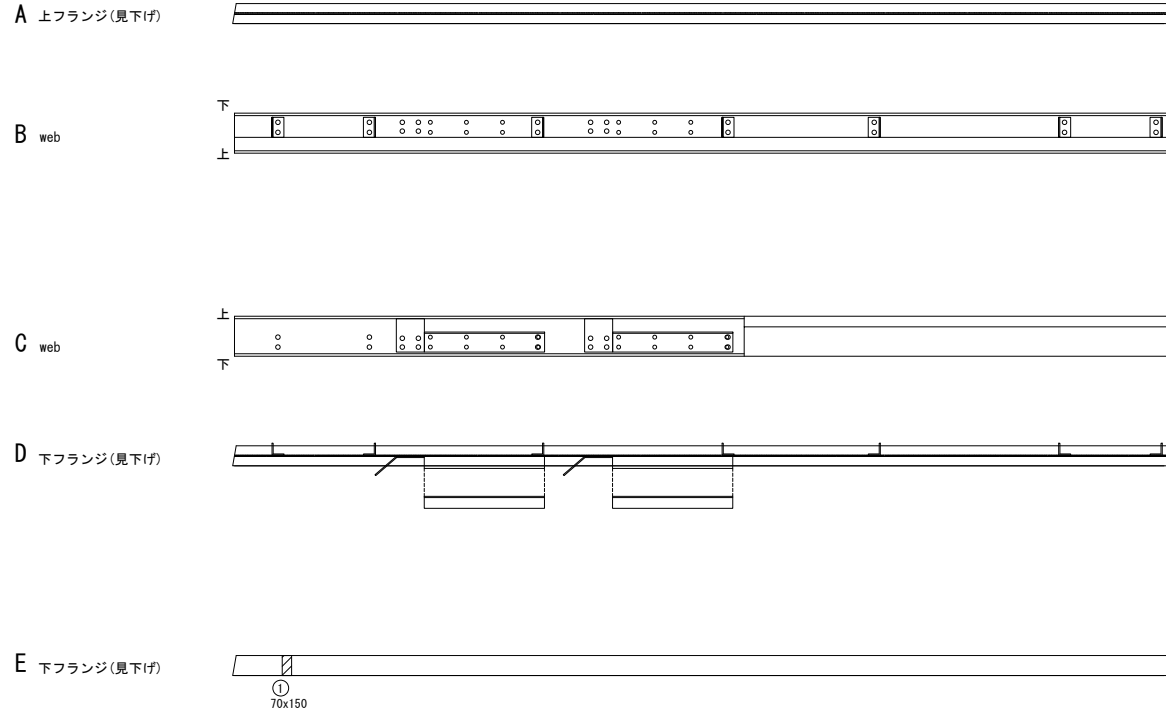


工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河内町他地内		
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その7)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	8/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条南小橋 補修詳細図(その8)

S=1:20

鋼桁補強工 G10 主桁 展開図



(A1)

(A2)

補修面積表

G10主桁

番号	損傷範囲		損傷面積 (m ²)	補修面積 (m ²)	備考
	幅(mm)	長さ(mm)			
①	70	150	0.01	0.01	
合計			0.01	0.01	

鋼板部分補修工

(A1-A2径間)

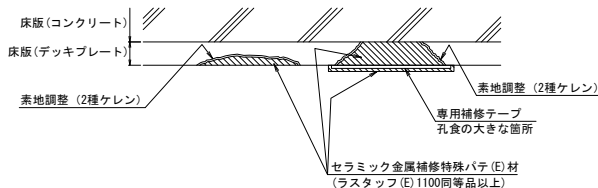
名称	仕様	単位	数量	備考
セラミック金属パテ	(ラスタップ(E)1100同等品以上)	m ²	0.01	t=2mm

セラミック金属パテ補修工要領図

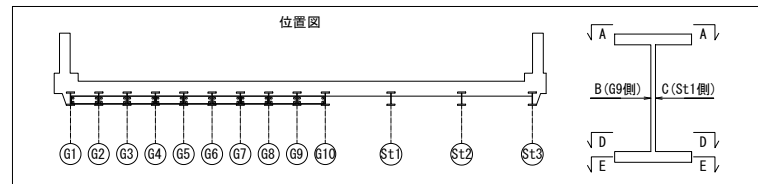
注)

項目	試験結果
引張接着強さ	23.6N/mm ²
耐摩耗性(磨耗輪法)	52.0mg
ロックハム硬度R _A スケール	115
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

- 施工前に必ず現地寸法を確認し、対象範囲及び数量を協議のうえ施工すること。
- 施工時の交通規制は、可能な限り供用可能とすること。
- パテ補修部の素地調整については2種ケレン以上とし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
- 素地調整後は、速やかにパテを塗布すること。
- 床版デッキプレート孔食部のセラミック金属補修パテは、床版コンクリート面への接着は構造上期待しないものとする。
- 金属パテ補修部は、塗装前にサンドペーパーにて表面を目粗しすること。なお、塗装の詳細は別図を参照すること。



補修 凡例	
損傷の種類	表示
鋼板部分補修工	(n)



(注意事項)

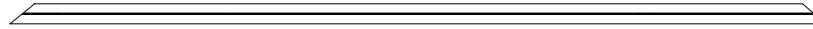
工事名	九条南小橋他3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その8)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	9/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

九条南小橋 補修詳細図(その9)

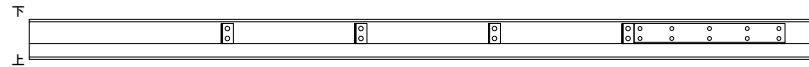
S=1:20

鋼桁補強工 G13 主桁 展開図

A 上フランジ(見下げ)



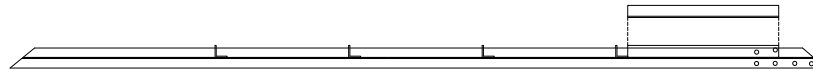
B web



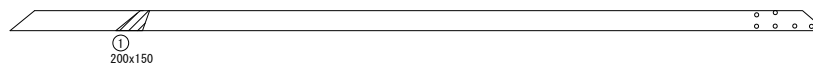
C web



D 下フランジ(見下げ)



E 下フランジ(見下げ)



① 200x150

A1

A2

補修面積表

G13主桁

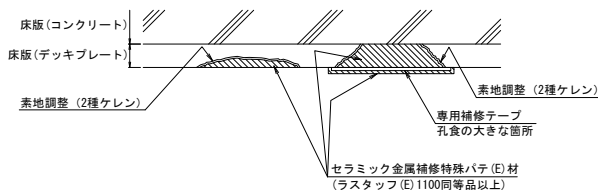
番号	損傷範囲		損傷面積 (m ²)	補修面積 (m ²)	備考
	幅(mm)	長さ(mm)			
①	200	150	0.03	0.03	
合計			0.03	0.03	

鋼板部分補修工

(A1-A2径間)

名称	仕様	単位	数量	備考
セラミック金属パテ	(ラスタップ(E)1100同等品以上)	m ²	0.03	t=2mm

セラミック金属パテ補修工要領図

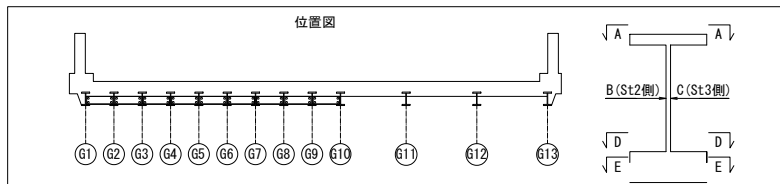


補修 凡例	
損傷の種類	表示
鋼板部分補修工	(n)

セラミック金属補修パテ(E)材 基本物性	
項目	試験結果
引張接着強さ	23.6N/mm ²
耐磨耗性(磨耗輪法)	52.0mg
ロッカール硬度R ₂ スケール	115
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

注)

- 施工前に必ず現地寸法を確認し、対象範囲及び数量を協議のうえ施工すること。
- 施工時の交通規制は、可能な限り供用可能とすること。
- パテ補修部の素地調整については2種ケレン以上とし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
- 素地調整後は、速やかにパテを塗布すること。
- 床版デッキプレート孔食部のセラミック金属補修パテは、床版コンクリート面への接着は構造上期待しないものとする。
- 金属パテ補修部は、塗装前にサンドペーパーにて表面を目粗しすること。なお、塗装の詳細は別図を参照すること。



工事名	九条南小橋他3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その9)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	10/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

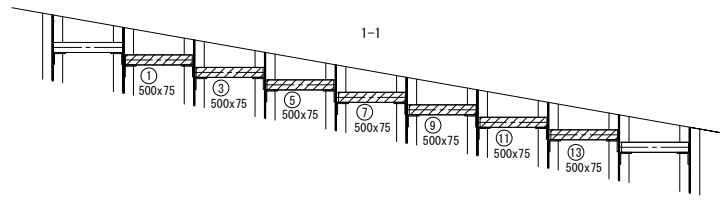
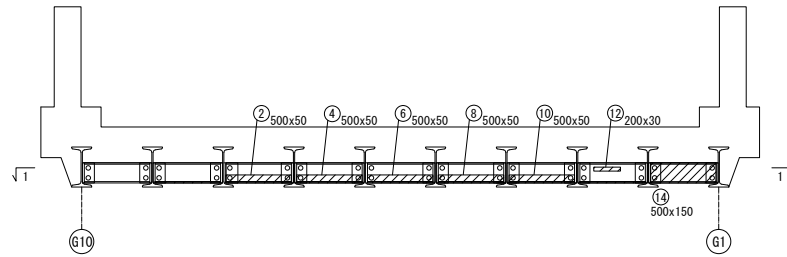
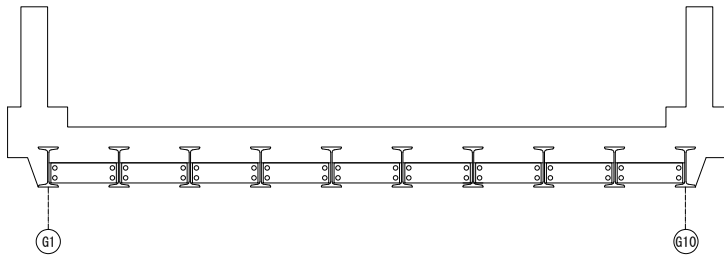
九条南小橋 補修詳細図(その10) S=1:20

鋼桁補強工 横桁

01-01

起点側

終点側



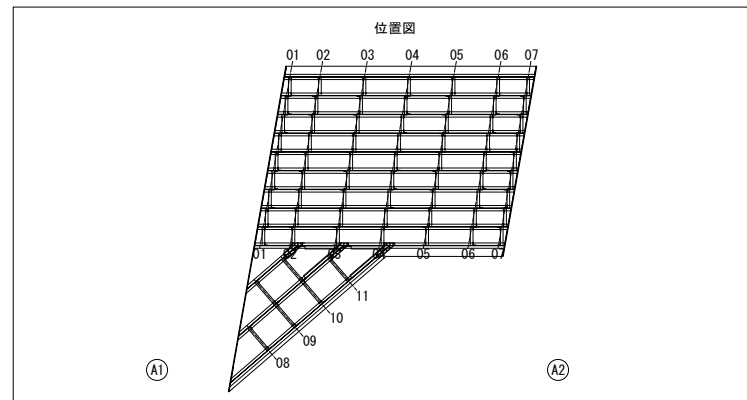
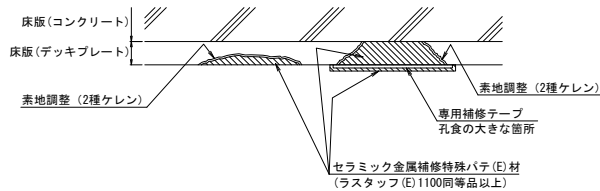
補修面積表

番号	損傷範囲		損傷面積 (m ²)	補修面積 (m ²)	備考
	幅(mm)	長さ(mm)			
①	500	75	0.04	0.04	
②	500	50	0.03	0.03	
③	500	75	0.04	0.04	
④	500	50	0.03	0.03	
⑤	500	75	0.04	0.04	
⑥	500	50	0.03	0.03	
⑦	500	75	0.04	0.04	
⑧	500	50	0.03	0.03	
⑨	500	75	0.04	0.04	
⑩	500	50	0.03	0.03	
⑪	500	75	0.04	0.04	
⑫	200	30	0.01	0.01	
⑬	500	75	0.04	0.04	
⑭	500	150	0.08	0.08	
合計			0.52	0.52	

セラミック金属パテ補修工要領図

項目	試験結果
引張接着強さ	23.6N/mm ²
耐摩耗性(磨耗輪法)	52.0mg
叩き出し硬度Rスケール	115
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

- 注)
1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、対象範囲及び数量を協議のうえ施工すること。
 2. 施工時の交通規制は、可能な限り供用可能とすること。
 3. パテ補修部の素地調整については2種ケレン以上とし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
 4. 素地調整後は、速やかにパテを塗布すること。
 5. 床版デッキプレート孔食部のセラミック金属補修パテは、床版コンクリート面への接着は構造上期待しないものとする。
 6. 金属パテ補修部は、塗装前にサンドペーパーにて表面を目粗しすること。なお、塗装の詳細は別図を参照すること。



鋼板部分補修工

名称	仕様	単位	数量	備考
セラミック金属パテ	(ラスタフ(E)1100同等品以上)	m ²	0.52	t=2mm

鋼桁補強工合計(主桁+横桁)

	補修面積(m ²)
主桁G1	0.02
主桁G9	0.01
主桁G10	0.01
主桁G13	0.03
横桁	0.52
合計	0.59

材料表(主桁+横桁)

工種	種別	仕様	単位	数量	備考
金属パテ補修工	金属補修パテ材	ラスタフ(E)1100同等品以上	ゼット	3	標準仕様書 2.200a~c 2.3.2.1.1.1
	専用補修テープ	ラスタフ1000以上 1000×20	巻	1	

補修 凡例	表示
損傷の種類	
鋼板部分補修工	(n)

(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

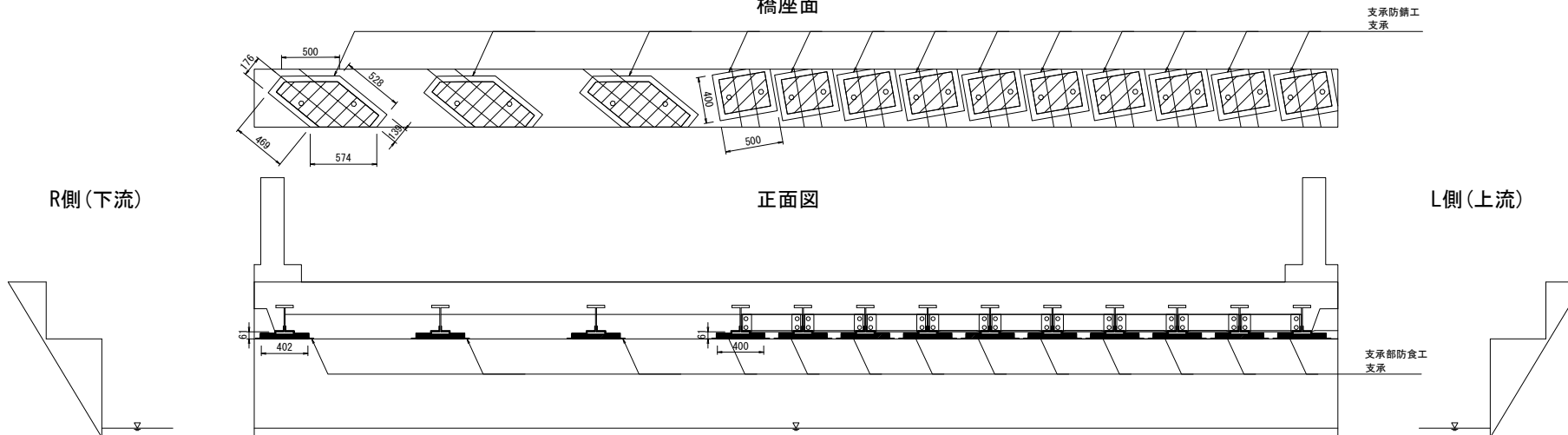
工事名	九条南小橋他3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町地内
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その10)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	11/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

九条南小橋 補修詳細図 (その11) S=1:20

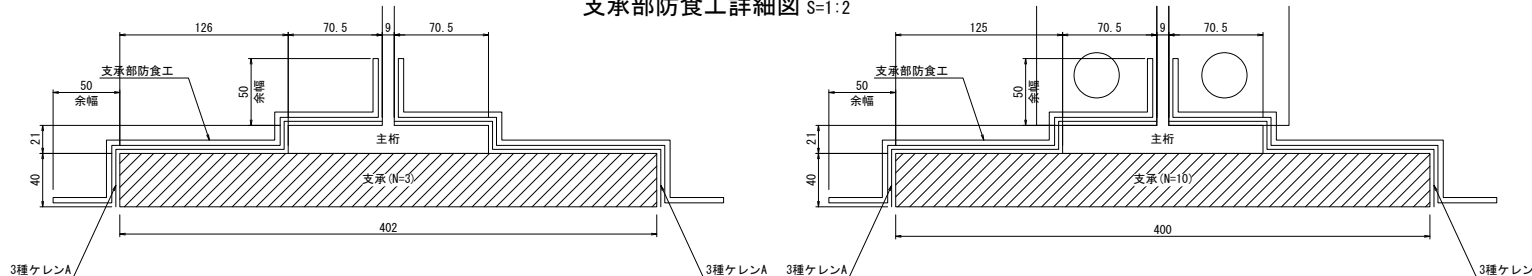
支承部防食工

A1橋台

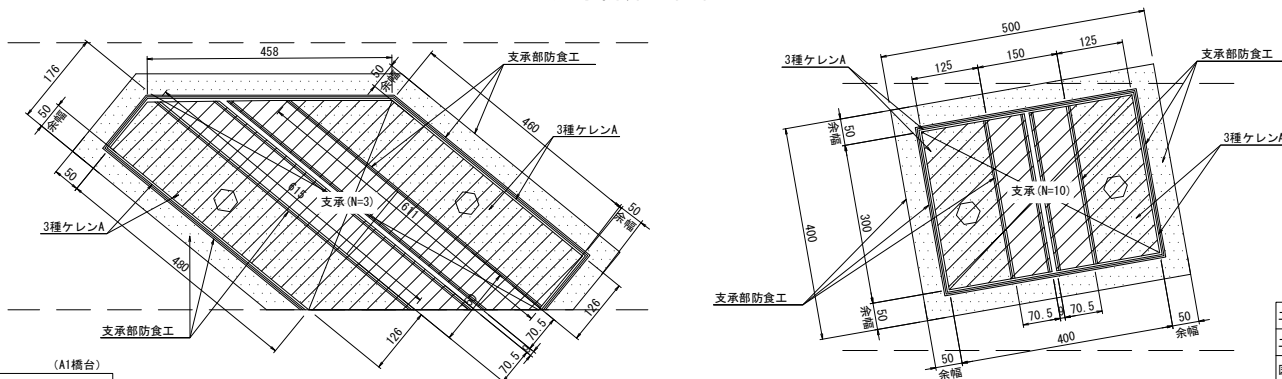
橋座面



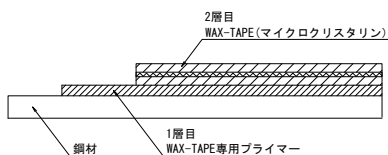
支承部防食工詳細図 S=1:2



支承防錆工詳細図 S=1:5

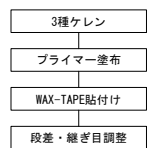


支承部防食工 (WAX-TAPE) システム断面図



※ ライトニング工法はWAX-TAPE同等品以上

【支承部防食工フロー】



支承部防食工

(A1橋台)

工種	名称	仕様	単位	数量	備考
支承部防食工	素地調整	3種ケレンA	m2	2.75	
	防食工	ライニングシート工法	m2	4.30	WAX-TAPE同等品以上

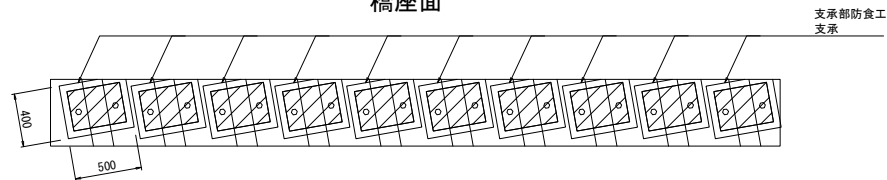
工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その11)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	12/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条南小橋 補修詳細図 (その12) S=1:20

支承部防食工

A2橋台

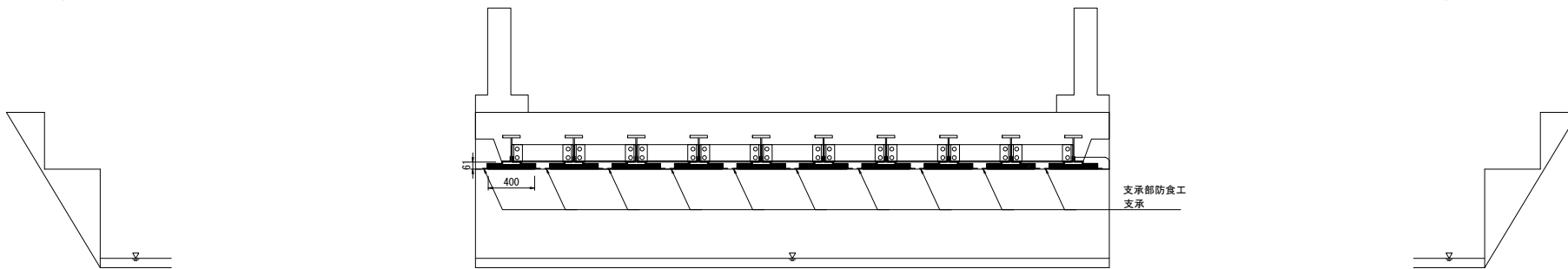
橋座面



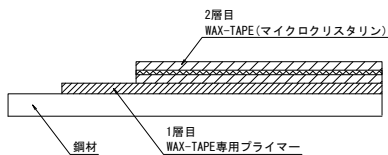
L側(上流)

正面図

R側(下流)



支承部防食工(WAX-TAPE) システム断面図

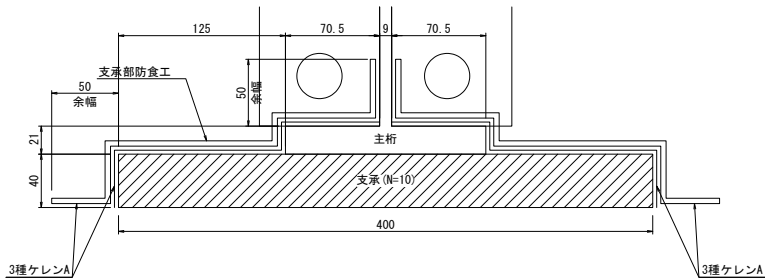


※ ライトニング工法はWAX-TAPE同等品以上

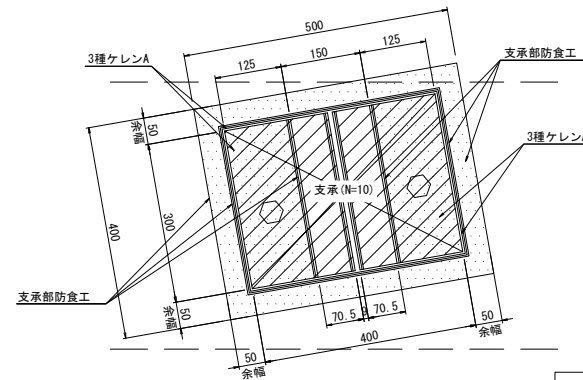
【支承部防食工フロー】



支承部防食工詳細図 S=1:2



支承防錆工詳細図 S=1:5



支承部防食工

(A2橋台)

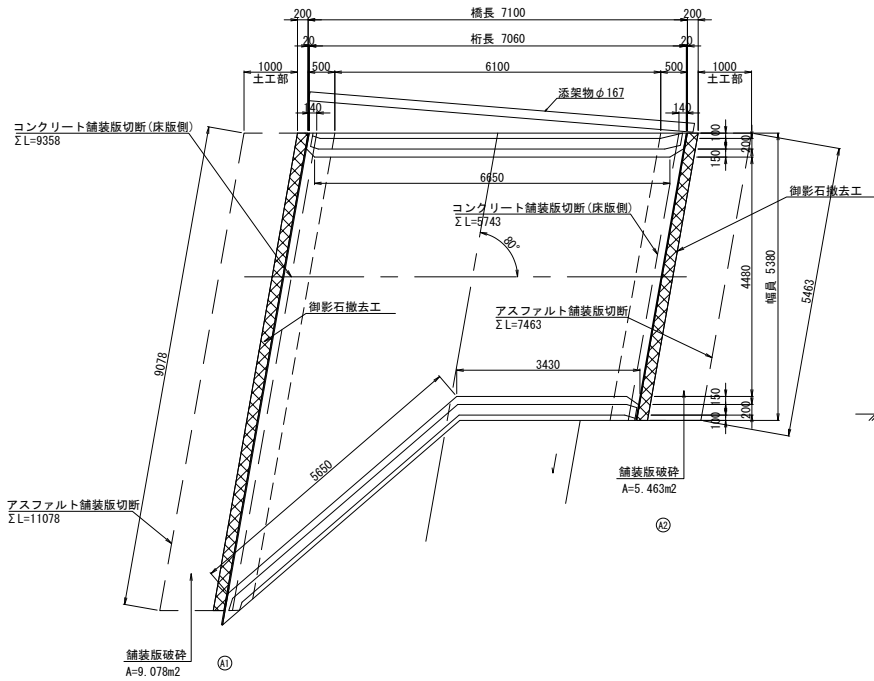
工種	名称	仕様	単位	数量	備考
支承部防食工	素地調整	3種ケレンA	m2	1.86	
	防食工	ライニングシート工法	m2	2.96	WAX-TAPE同等品以上

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その12)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	13/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

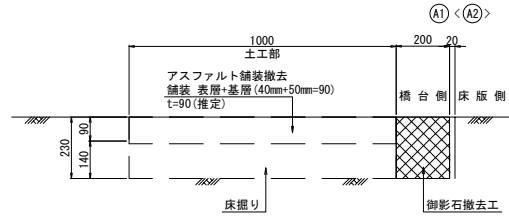
九条南小橋 補修詳細図(その13)

御影石撤去工

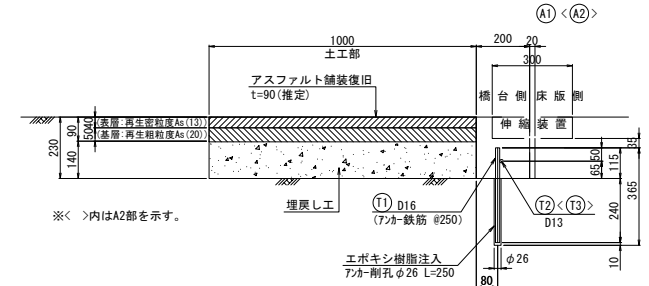
平面図(橋面) S=1:50



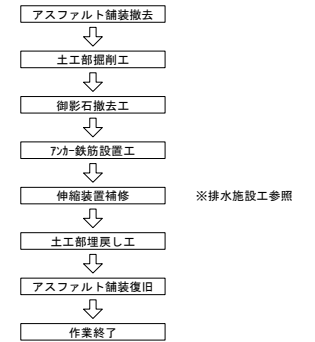
土工部掘削工・御影石撤去工 S=1:10



土工部埋戻し工・アンカー鉄筋設置工 S=1:10



御影石撤去エフロー



鉄筋質量表

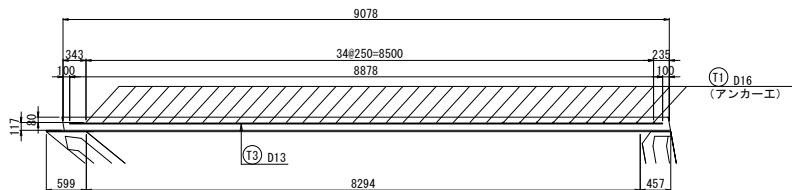
種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
T1	D16	365	56	1.56	0.57	32	アンカー筋
2	D13	5263	1	0.995	5.24	5	
3	"	8878	1	"	8.83	9	
						D16	32 kg
						D13	14 kg
						合計	46 kg

御影石撤去工

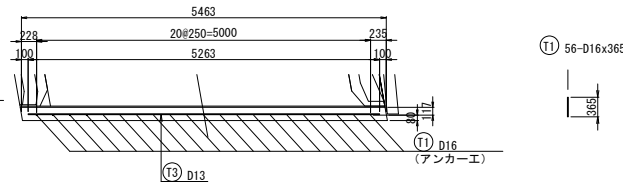
名称	仕様・寸法	単位	数量	備考
アスファルト舗装撤去・復旧工	舗装版切断	m	18.5	t=90(推定)
	舗装版破砕	m ²	14.5	t=90(推定)
	舗装撤去(表層・基層)	m ³	1.31	t=90(推定)
コンクリート舗装撤去	舗装版切断(床版側)	m	14.5	t=90mm(表層40mm+基層50mm)
	構造物とりこわし	m ³	0.21	
土工	床掘り	m ³	2.04	
	埋戻し	m ³	2.04	
御影石撤去工	構造物とりこわし	m ³	0.67	
		t	1.74	2.6t/m ³
鉄筋	D13(SD345)	kg	14	
	D16(SD345)	kg	32	アンカー筋
	合計	kg	46	
アンカー削孔	φ26 L=250	孔	56	
樹脂注入工	エポキシ樹脂系注入材	kg	6.81	1200kg/m ³ 、ロス率1.20

アンカー鉄筋配筋図 S=1:40

A1部平面図



A2部平面図



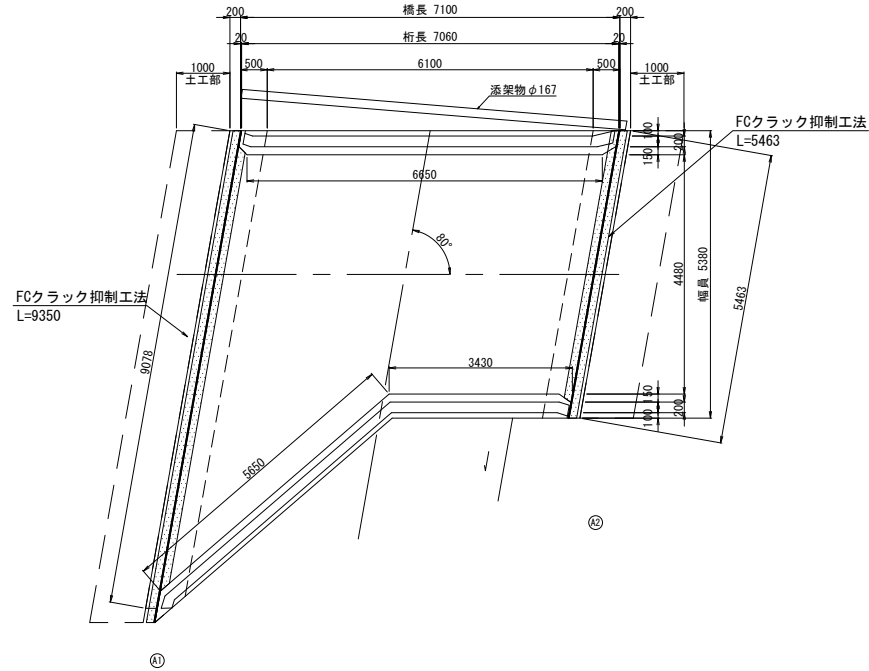
※()内は(13)を示す。

工事名	九条南小橋他3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その13)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	14/38
京都市建設局土木管理部横りょう健全推進課	

九条南小橋 補修詳細図(その14)

排水施設工

平面図(橋面) S=1:70



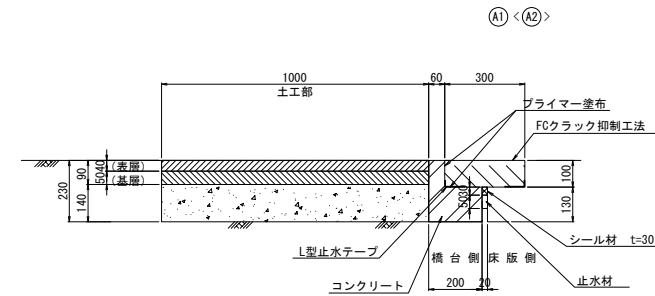
伸縮装置補修工

(10m当り)

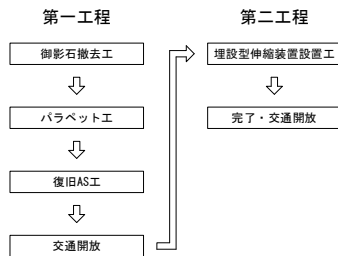
名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
プライマー	FCコート同等品以上	ℓ	2.50	
弾性合材	ファルコンHR同等品以上	kg	746.0	ロス率1.1
シール材	シリコン系	ℓ	6.6	ロス率1.1
止水材	メジエイドMA20同等品以上	m	10.00	
止水目地材	L型止水テープ(橋梁端部)同等品以上	m	20.6	ロス率1.01

名称	品名又は仕様	単位	数量	備考
コンクリート	24-8-25 (20)	m ³	0.53	
型枠	-	m ²	6.81	

目地止水工・弾性合材舗設断面図 S=1:10

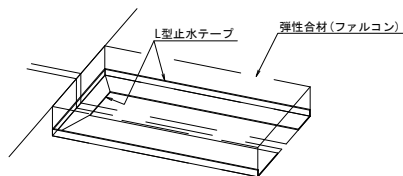


A1・A2部 施工フロー



- 注1) 仕様・請寸法・適応の可否は、現地再調査及び照査の上、決定のこと。
- 注2) ファルコン舗設箱抜部については、必要に応じて超速硬無収縮モルタル等にて補修及び不陸調整を行うこと。
- 注3) ファルコンを舗設する際には、L型止水テープを使用すること。
- 注4) L型止水テープは施工箇所を囲むようにファルコン舗設幅分も設置すること。
- 注5) 既設伸縮装置はノージョイントを想定。

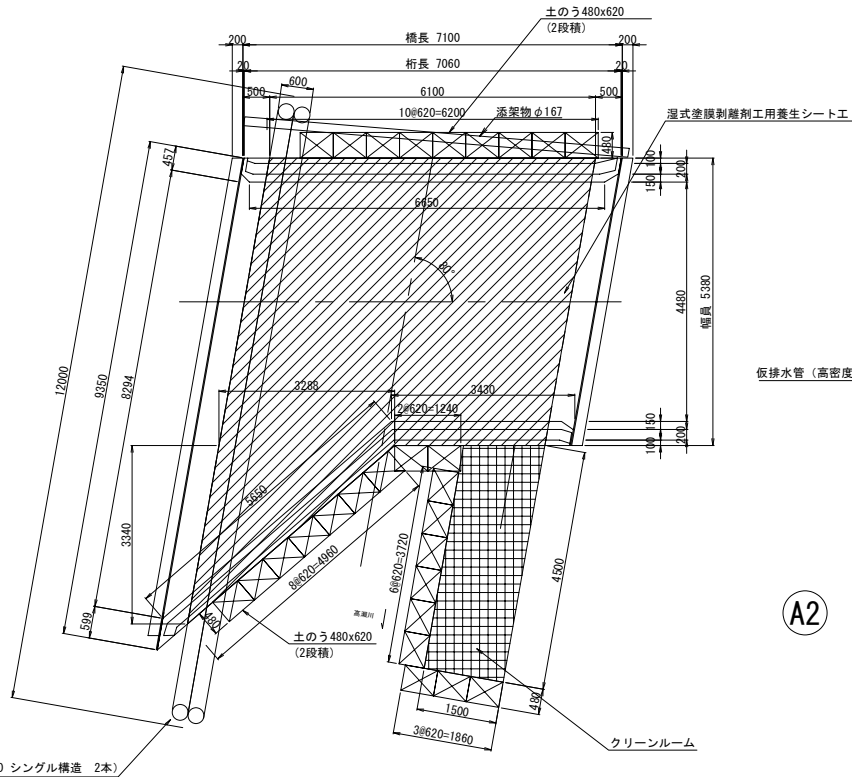
施工境界部イメージ図



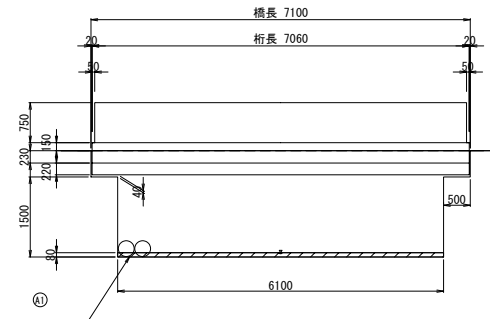
工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条南小橋 補修詳細図(その14)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	15/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条南小橋 仮設工図 (参考図)

平面図 (橋面) S=1:50



側面図 S=1:50



仮排水管 (高密度ポリエチレン管φ300 シングル構造 2本)

仮排水管 (高密度ポリエチレン管φ300 シングル構造 2本)

仮設工

名称	仕様・寸法	単位	数量	備考
土のう設置・撤去工	480 (B) x620 (L)	袋	54	
仮排水管	高密度ポリエチレン管φ300 シングル構造	m	24.0	12.0m x 2本
湿式塗膜剥離剤工用養生シート工		m ²	38.31	

(注意事項)

※ 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

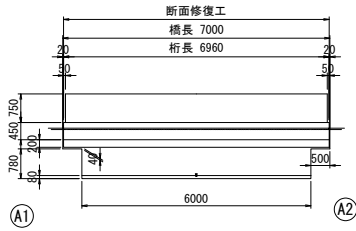
※ Coのはつりガラが河川に流入しないように作業を行うこと。

※ 塗膜剥離、二程ケレン相当時には剥離塗膜及び有害物質の飛散、拡散防止を行うこと。

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条南小橋 仮設工図 (参考図)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	16/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

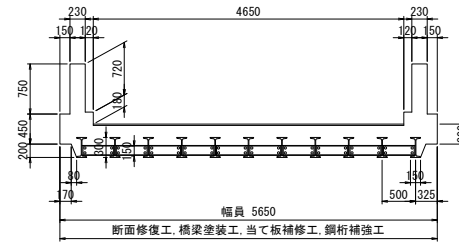
九条北小橋 補修一般図

側面図 S=1:70

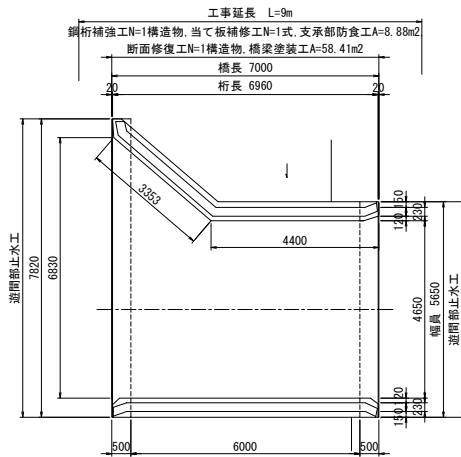


上部工断面図 S=1:40

中間部

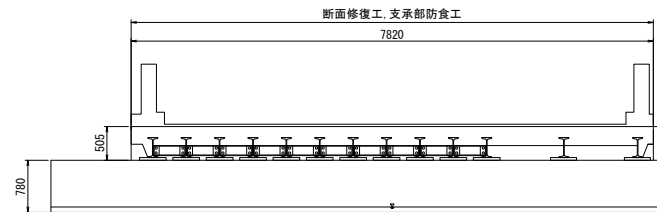


平面図(橋面) S=1:70

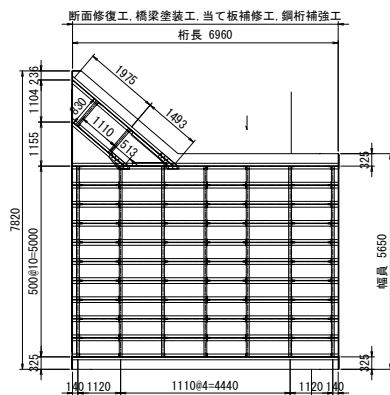


下部工正面図 S=1:40

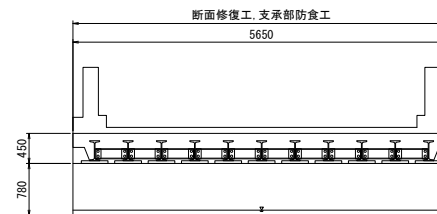
A1橋台



平面図(桁下) S=1:70



A2橋台



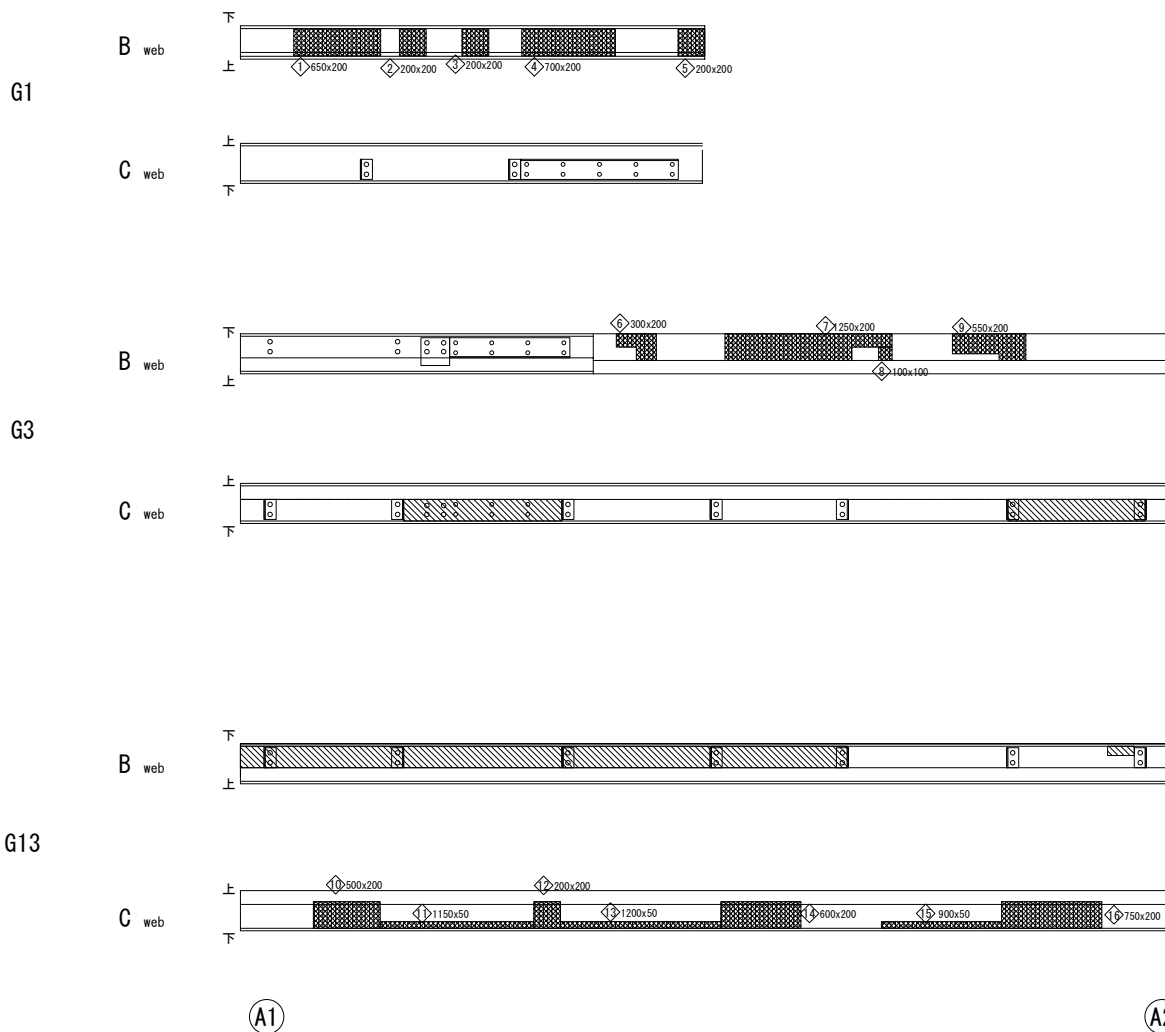
補修箇所一覧表

対象部位	損傷内容	補修項目	
上部工	主桁	剥離・鉄筋露出 腐食 防食機能の劣化 変形・欠損	断面修復工 塗装塗替工 当て板補修工 鋼桁補強工
	横桁	腐食 防食機能の劣化 変形・欠損	橋梁塗装工 当て板補修工
	床版	剥離・鉄筋露出 うき 豆板	断面修復工
下部工	壁	剥離 うき	断面修復工
支承	支承本体	腐食 防食機能の劣化	支承部防食工

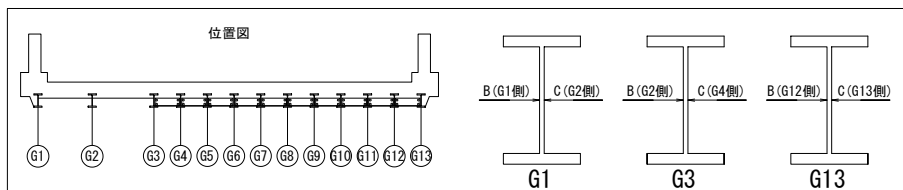
工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条北小橋 補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	17/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条北小橋 補修詳細図 (その1) S=1:20

断面修復工
主桁 展開図



補修 凡例	
損傷の種類	表示
断面修復工	◁▷ (hatched pattern)



工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その1)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	18/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条北小橋 補修詳細図 (その2) S=1:20

断面修復工


床版



A1

A2

補修 凡例

損傷の種類	表示
断面修復工	

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	19/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条北小橋 補修詳細図 (その3) S=1:20

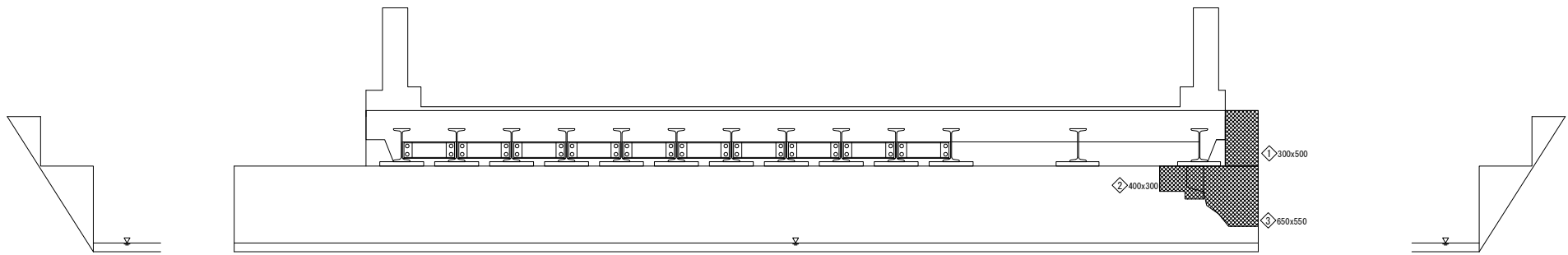
断面修復工

A1橋台

R側(下流)

正面図

L側(上流)



補修 凡例

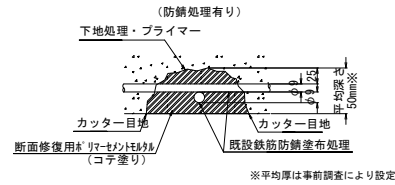
損傷の種類	表示
断面修復工	◊ ◻

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その3)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	20/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条北小橋 補修詳細図 (その4) S=1:20

断面修復工

断面修復工詳細図



断面修復工特記事項

1. 施工に先立ち、補修箇所、数量を必ず再確認すること。
2. 断面修復はつり深さは、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
3. 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地で確認すること。
4. 断面修復の平均厚決定について
断面修復の平均厚の決定は、施工完了後の空袋・充填の数量により決定すること。
空袋・充填については、監督職員の了承を得ること。
5. 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

断面修復工

断面修復工		下部工 (A1橋台)				
番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
①	有	0.300	0.500	0.070	0.150	0.0105
②	有	0.400	0.300	0.070	0.120	0.0084
③	有	0.650	0.550	0.070	0.358	0.0251
合計 (防錆処理有)					0.628	0.0440

断面修復工

断面修復工		上部工 (主桁)				
番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
④	有	0.650	0.200	0.050	0.130	0.0065
⑤	有	0.200	0.200	0.050	0.040	0.0020
⑥	有	0.200	0.200	0.050	0.040	0.0020
⑦	有	0.700	0.200	0.050	0.140	0.0070
⑧	有	0.200	0.200	0.050	0.040	0.0020
⑨	有	0.300	0.200	0.050	0.060	0.0030
⑩	有	1.250	0.200	0.050	0.250	0.0125
⑪	有	0.100	0.100	0.050	0.010	0.0005
⑫	有	0.550	0.200	0.050	0.110	0.0055
⑬	有	0.500	0.200	0.050	0.100	0.0050
⑭	有	1.150	0.050	0.050	0.058	0.0029
⑮	有	0.200	0.200	0.050	0.040	0.0020
⑯	有	1.200	0.050	0.050	0.060	0.0030
⑰	有	0.600	0.200	0.050	0.120	0.0060
⑱	有	0.900	0.050	0.050	0.045	0.0023
⑲	有	0.750	0.200	0.050	0.150	0.0075
合計 (防錆処理有)					1.393	0.0697

断面修復工

断面修復工		上部工 (床版)				
番号	防錆処理	幅(m)	長さ(m)	深さ(m)	面積(m ²)	体積(m ³)
①	有	0.150	0.150	0.050	0.023	0.0012
②	有	0.250	0.150	0.050	0.038	0.0019
③	有	0.300	0.150	0.050	0.045	0.0023
④	有	0.100	0.100	0.050	0.010	0.0005
⑤	有	0.100	0.100	0.050	0.010	0.0005
⑥	有	0.350	0.100	0.050	0.035	0.0018
⑦	有	0.150	0.150	0.050	0.023	0.0012
⑧	有	0.500	0.150	0.050	0.075	0.0038
⑨	有	0.400	0.150	0.050	0.060	0.0030
⑩	有	0.100	0.100	0.050	0.010	0.0005
⑪	有	0.100	0.100	0.050	0.010	0.0005
⑫	有	0.200	0.150	0.050	0.030	0.0015
⑬	有	0.850	0.150	0.050	0.128	0.0064
⑭	有	0.100	0.150	0.050	0.015	0.0008
⑮	有	0.300	0.300	0.050	0.090	0.0045
⑯	有	0.150	0.250	0.050	0.038	0.0019
⑰	有	0.800	0.700	0.050	0.560	0.0280
⑱	有	0.750	0.500	0.050	0.375	0.0188
⑲	有	0.400	0.500	0.050	0.200	0.0100
⑳	有	0.300	0.200	0.050	0.060	0.0030
㉑	有	0.200	0.200	0.050	0.040	0.0020
㉒	有	0.550	0.400	0.050	0.220	0.0110
㉓	有	0.300	0.250	0.050	0.075	0.0038
㉔	有	0.450	0.300	0.050	0.135	0.0068
㉕	有	0.450	0.350	0.050	0.158	0.0079
㉖	有	1.000	0.500	0.050	0.500	0.0250
㉗	有	0.150	0.150	0.050	0.023	0.0012
㉘	有	0.300	0.500	0.050	0.150	0.0075
㉙	有	1.000	0.500	0.050	0.500	0.0250
㉚	有	0.350	0.350	0.050	0.123	0.0062
㉛	有	1.000	0.500	0.050	0.500	0.0250
㉜	有	0.400	0.300	0.050	0.120	0.0060
㉝	有	0.150	0.200	0.050	0.030	0.0015
㉞	有	0.100	0.150	0.050	0.015	0.0008
㉟	有	0.050	0.100	0.050	0.005	0.0003
㊱	有	0.350	0.500	0.050	0.175	0.0088
㊲	有	0.150	0.100	0.050	0.015	0.0008
合計 (防錆処理有)					4.619	0.2317

断面修復工 合計

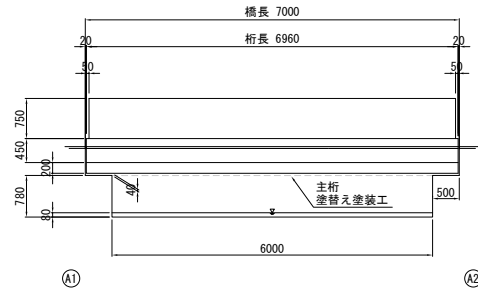
工種	種別	仕様	単位	数量	備考
断面修復工 左官工法 (防錆処理有り)	断面修復体積	ポリマーセメントモルタル	上部工	m ³	0.3014
		U-リベアパッチAP同等品以上	下部工	m ³	0.044

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その4)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	21/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

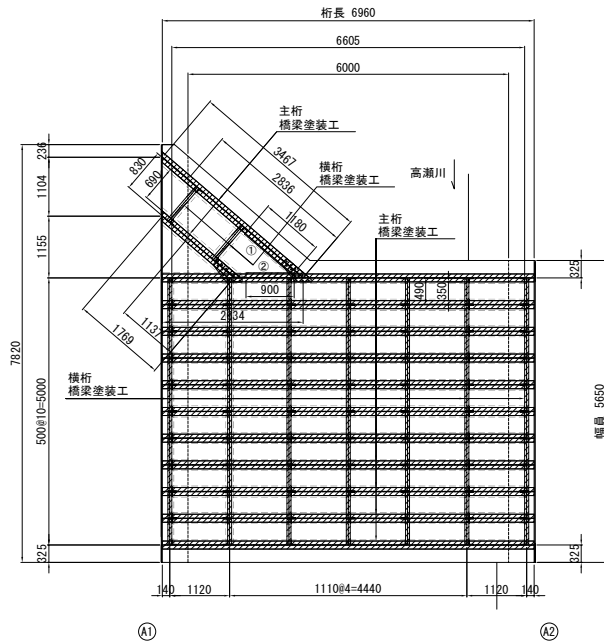
九条北小橋 補修詳細図 (その5)

橋梁塗装工

側面図 S=1:50



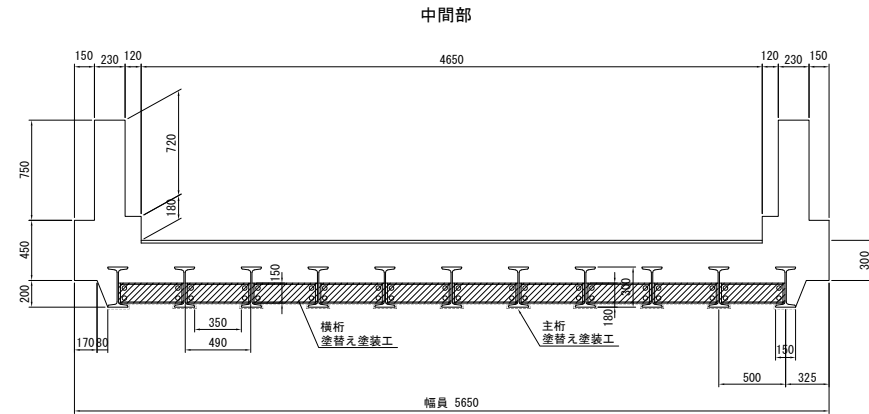
平面図(桁下) S=1:50



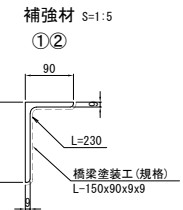
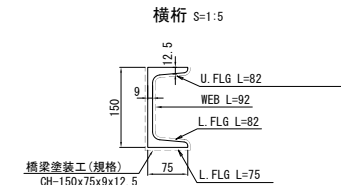
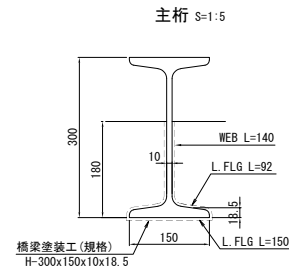
橋梁塗装工

名称	仕様・寸法	単位	数量	備考
橋梁塗装工	上塗り	m ²	50.86	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料
	中塗り	m ²	50.86	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗
	下塗り	m ²	50.86	錆転換型特殊エポキシ樹脂系下塗り塗料(サビバリヤー同等品以上)
	素地調整	m ²	58.41	2種ケレン相当
	塗膜剥離剤	m ²	58.41	STRIPPER同等品以上

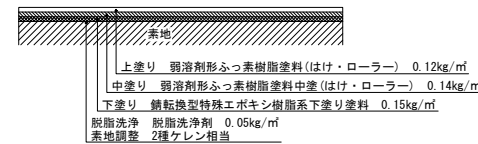
上部工断面図 S=1:20



部材詳細図



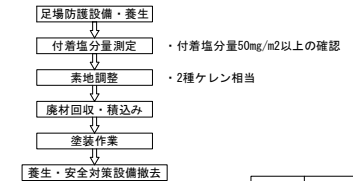
塗装要領図及び塗装仕様



塗装工程	仕様	使用量	塗膜厚さ	日数
1	素地調整 2種ケレン相当	-	-	-
2	脱脂洗浄 脱脂洗浄剤	0.05kg/m ²	-	1日
3	下塗り 錆転換型特殊エポキシ樹脂系下塗り塗料	0.15kg/m ²	70 μm	-
4	中塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	0.14kg/m ²	30 μm	1日
5	上塗り 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	0.12kg/m ²	25 μm	1日

素地調整の前に、塗膜除去工を施工すること。

施工フロー

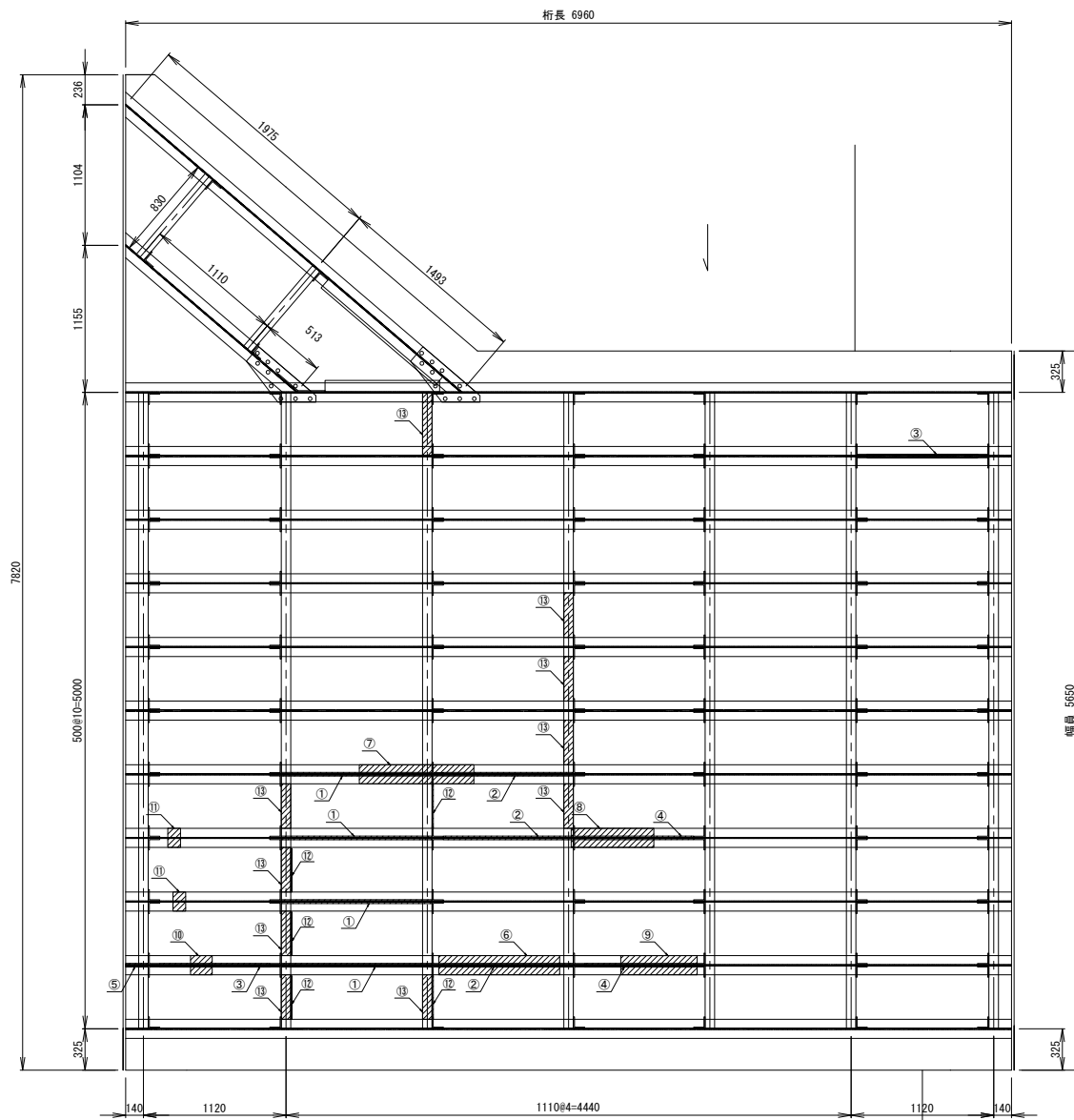


工事名	九条南小橋3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その5)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	22/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

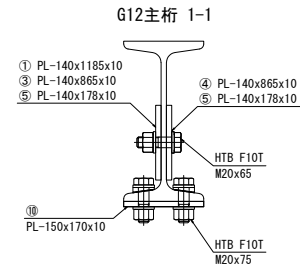
九条北小橋 補修詳細図(その6) S=1:20

当て板補修工

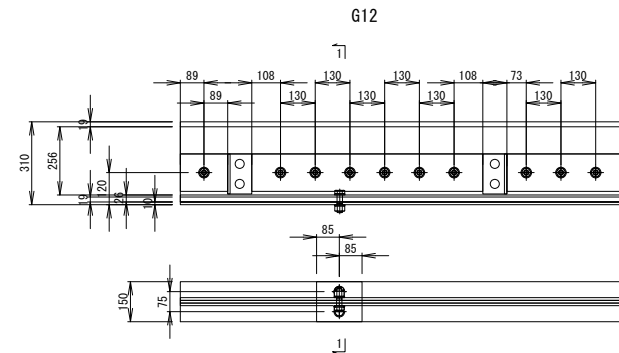
当て板設置図 S=1:20



当て板詳細 断面図 S=1:5



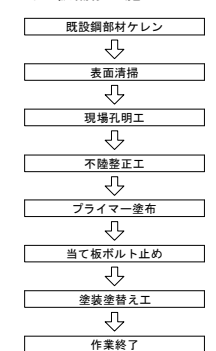
当て板詳細図 S=1:10



当て板補修工 合計

名称	単位	数量	備考
当て板	SS400	t	0.331
高力ボルト本締工	F10T M20x65	組	92
	F10T M20x75	組	80
現場孔明工	φ22.5	箇所	172
近接調査計測工		組	46
芯出し調整工		組	46
補強部材取付工	一部材当り平均質量(kg)G≤20kg	組	46
不陸整正工		組	4.244

当て板補修工施工フロー



当て板部の塗装仕様 F-11 (はけ・ローラー)

塗装工程	塗料名	使用量(g/m ²)	目標膜厚(μm)
素地調整	動力工具処理 ISO St3		
現場	ミスト		
下塗り	変性エポキシ樹脂塗料下塗り	130	-
中塗り	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	500×2	300
上塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗り	140	30
	ふっ素樹脂塗料上塗り	120	25

※塗装面積 8.46m²

(注意事項)

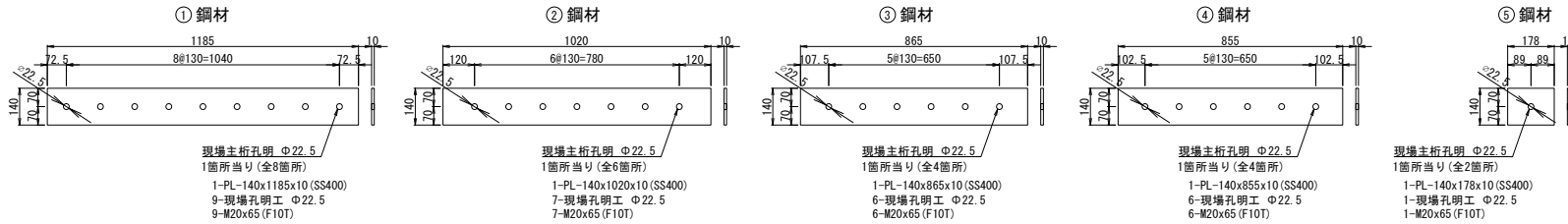
- 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その6)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	23/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

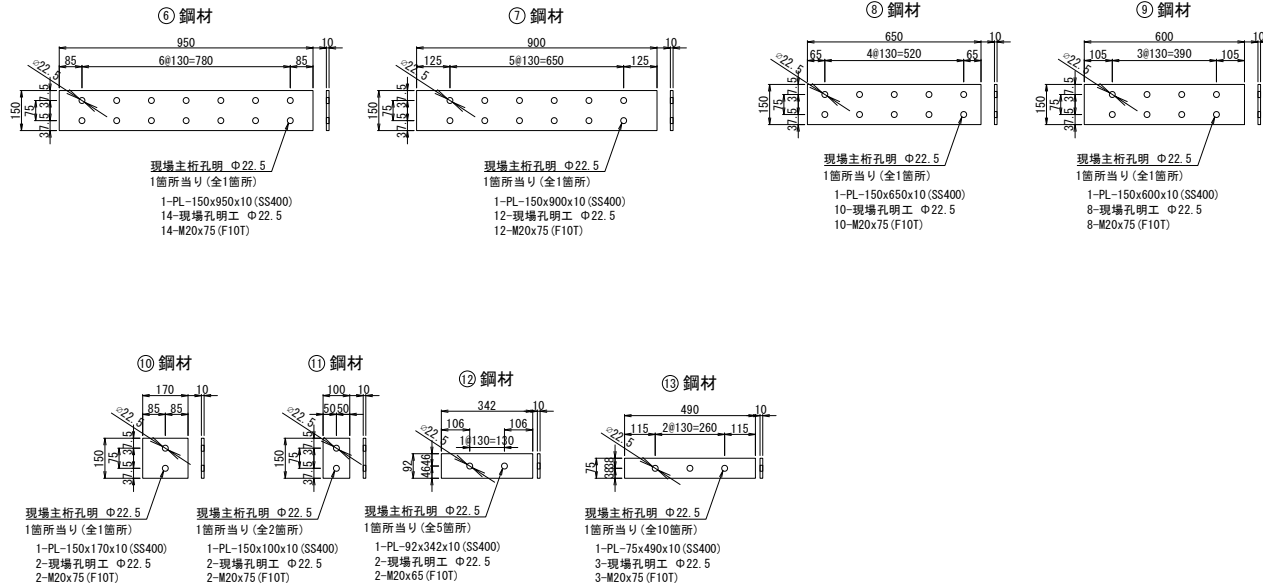
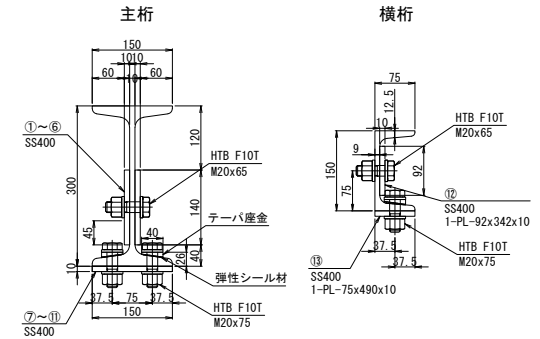
九条北小橋 補修詳細図(その7)

当て板補修工

当て板詳細図 S=1:10



断面図 S=1:5



工事名	九条南小橋他3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その7)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	24/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

九条北小橋 補修詳細図(その8)

S=1:20

鋼桁補強工

G1, G2 主桁 展開図

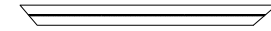
G1

G2

A 上フランジ(見下げ)



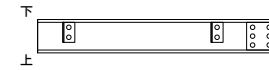
A 上フランジ(見下げ)



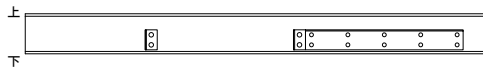
B web



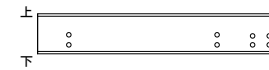
B web



C web



C web



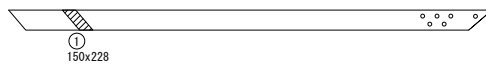
D 下フランジ(見下げ)



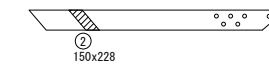
D 下フランジ(見下げ)



E 下フランジ(見下げ)



E 下フランジ(見下げ)



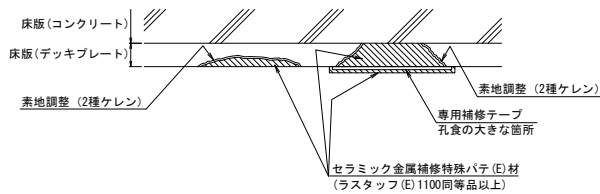
(A1)

(A2)

(A1)

(A2)

セラミック金属パテ補修工要領図 S=NON



セラミック金属補修パテ(E)材 基本物性	
項目	試験結果
引張接着強さ	23.6N/mm ²
耐摩耗性(磨耗輪法)	52.0mg
ロッキング硬度RX-R	115
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

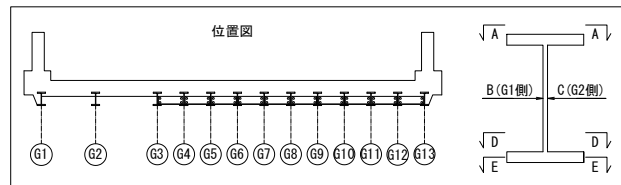
注)

1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、対象範囲及び数量を協議のうえ施工すること。
2. 施工時の交通規制は、可能な限り供用可能とすること。
3. パテ補修部の素地調整については2種ケレン以上とし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
4. 素地調整後は、速やかにパテを塗布すること。
5. 床版デッキプレート孔食部のセラミック金属補修パテは、床版コンクリート面への接着は構造上期待しないものとする。
6. 金属パテ補修部は、塗装前にサンドペーパーにて表面を目粗しすること。なお、塗装の詳細は別図を参照すること。

(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

補修 凡例	
損傷の種類	表示
鋼板部分補修工	(n)



(注意事項)

1. 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

鋼板部分補修工

(A1-A2径間)

名称	仕様	単位	数量	備考
セラミック金属パテ	(ラススタッフ(E)1100同等品以上)	m ²	0.08	t=2mm

補修面積表

G1, G2 主桁

番号	損傷範囲		損傷面積 (m ²)	補修面積 (m ²)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
①	150	× 228	0.04	0.04	
②	150	× 228	0.04	0.04	
合計			0.08	0.08	

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その8)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	25/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

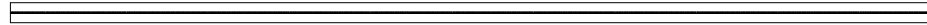
九条北小橋 補修詳細図(その9)

S=1:20

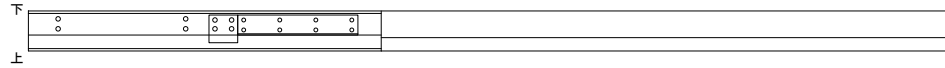
鋼桁補強工

G3 主桁 展開図

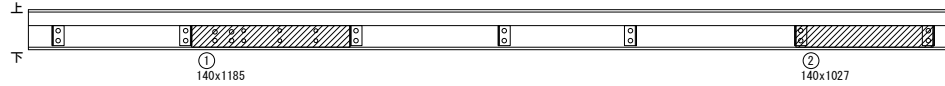
A 上フランジ(見下げ)



B web



C web



D 下フランジ(見下げ)

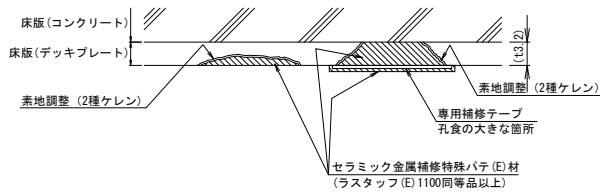


E 下フランジ(見下げ)



(A1)

セラミック金属パテ補修工要領図 S=NON



セラミック金属補修パテ(E)材 基本物性	
項目	試験結果
引張接着強さ	23.6N/mm ²
耐摩耗性(磨耗輪法)	52.0mg
ロカール硬度(Rカール)	115
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

注)

1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、対象範囲及び数量を協議のうえ施工すること。
2. 施工時の交通規制は、可能な限り供用可能とすること。
3. パテ補修部の素地調整については2種ケレン以上とし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
4. 素地調整後は、速やかにパテを塗布すること。
5. 床版デッキプレート孔食部のセラミック金属補修パテは、床版コンクリート面への接着は構造上期待しないものとする。
6. 金属パテ補修部は、塗装前にサンドペーパーにて表面を目粗しすること。なお、塗装の詳細は別図を参照すること。

(A2)

鋼板部分補修工

(A1-A2径間)

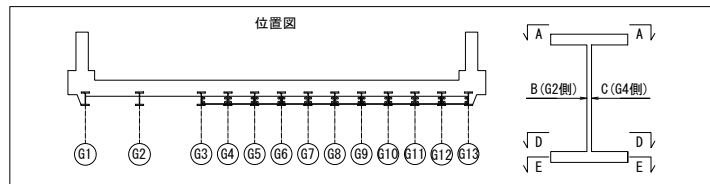
名称	仕様	単位	数量	備考
セラミック金属パテ	(ラススタッフ(E)1100同等品以上)	m ²	0.31	t=2mm

補修面積表

G3 主桁

番号	損傷範囲		損傷面積 (m ²)	補修面積 (m ²)	備考
	幅(mm)	長さ(mm)			
①	140	× 1185	0.17	0.17	
②	140	× 1027	0.14	0.14	
合計			0.31	0.31	

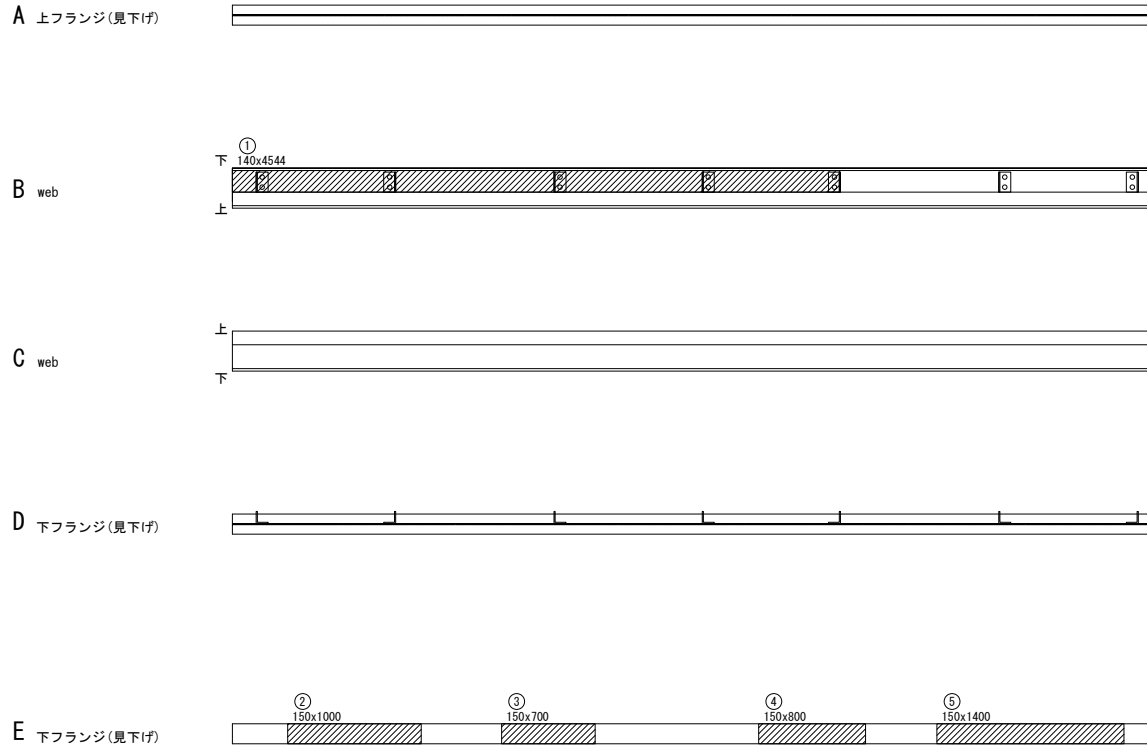
補修 凡例	
損傷の種類	表示
鋼板部分補修工	(n)



工事名	九条南小橋他3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その9)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	26/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

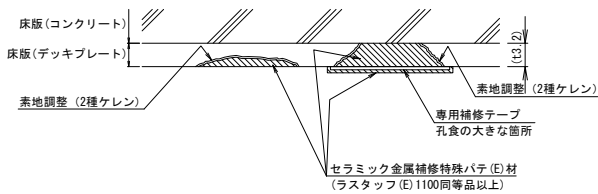
九条北小橋 補修詳細図(その10) S=1:20

鋼桁補強工 G13 主桁 展開図



(A1)

セラミック金属パテ補修工要領図 S=NON



セラミック金属補修パテ(E)材 基本物性	
項目	試験結果
引張接着強さ	23.6N/mm ²
耐磨耗性(磨耗輪法)	52.0mg
ロカール硬度RX7-ル	115
耐塩水噴霧試験	24,000時間変化なし

注)

1. 施工前に必ず現地寸法を確認し、対象範囲及び数量を協議のうえ施工すること。
2. 施工時の交通規制は、可能な限り供用可能とすること。
3. パテ補修部の素地調整については2種ケレン以上とし、旧塗膜、さびを除去し鋼材面を露出させること。
4. 素地調整後は、速やかにパテを塗布すること。
5. 床版デッキプレート孔食部のセラミック金属補修パテは、床版コンクリート面への接着は構造上期待しないものとする。
6. 金属パテ補修部は、塗装前にサンドペーパーにて表面を目粗しすること。なお、塗装の詳細は別図を参照すること。

(A2)

鋼板部分補修工

(A1-A2径間)

名称	仕様	単位	数量	備考
セラミック金属パテ	(ラスタフ(E)1100同等品以上)	m ²	1.23	t=2mm

補修面積表

G13 主桁

番号	損傷範囲		損傷面積 (m ²)	補修面積 (m ²)	備考
	幅 (mm)	長さ (mm)			
①	140	× 4544	0.64	0.64	
②	150	× 1000	0.15	0.15	
③	150	× 700	0.11	0.11	
④	150	× 800	0.12	0.12	
⑤	150	× 1400	0.21	0.21	
合計			1.23	1.23	

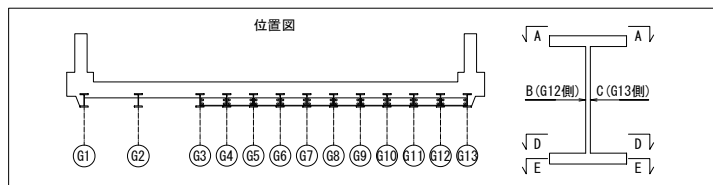
鋼桁補強工合計(主桁)

	補修面積(m ²)
主桁G1、G2	0.08
主桁G3	0.31
主桁G13	1.23
合計	1.62

材料表(主桁+横桁)

工種	種別	仕様	単位	数量	備考
金属パテ補修工	金属補修パテ材	セラミック(E)1100同等品以上	セット	8	標準仕様書 JIS S5004-10 C3.8.1.15
		1100専用修正テープ	巻	1	セラミックパテ補修用

補修 凡例	
損傷の種類	表示
鋼板部分補修工	(n)



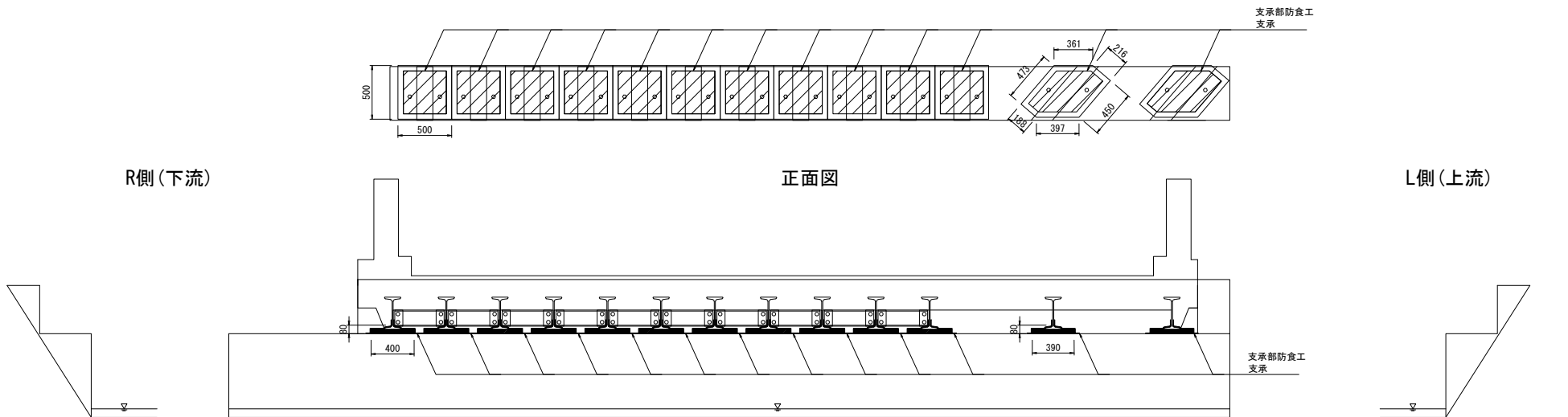
工事名	九条南小橋他3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その10)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	27/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

九条北小橋 補修詳細図 (その11) S=1:20

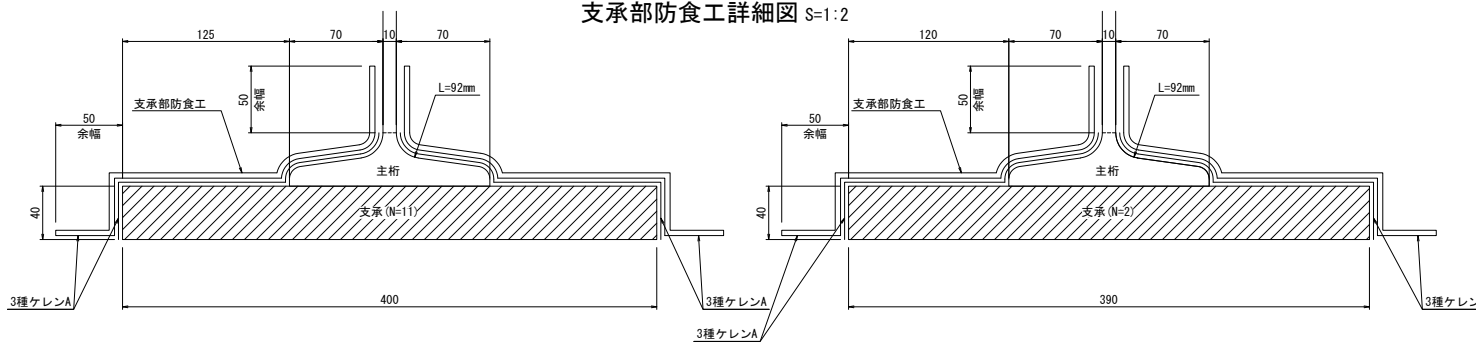
支承部防食工

A1橋台

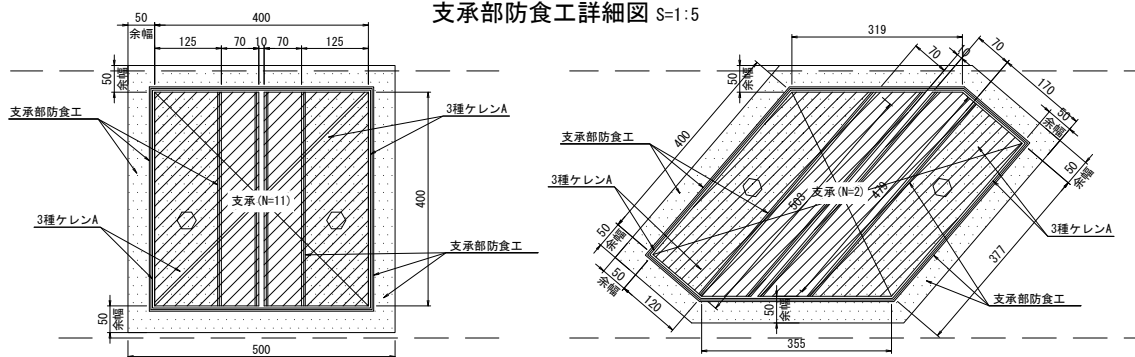
橋座面



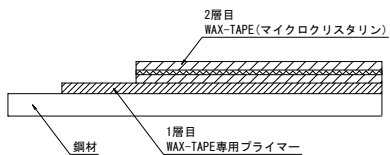
支承部防食工詳細図 S=1:2



支承部防食工詳細図 S=1:5



WAX-TAPE システム断面図



※ ライニングシート工法は WAX-TAPE 同等品以上とする。

【支承防錆工フロー】



支承部防食工

(A1橋台)

工種	名称	仕様	単位	数量	備考
支承部防食工	素地調整	3種ケレンA	m2	3.12	
	防食工	ライニングシート工法	m2	4.84	WAX-TAPE同等品以上

(注意事項)

- 本図面は、点検調書および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河内町他地内		
図面名	九条北小橋 補修詳細図(その11)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	28/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

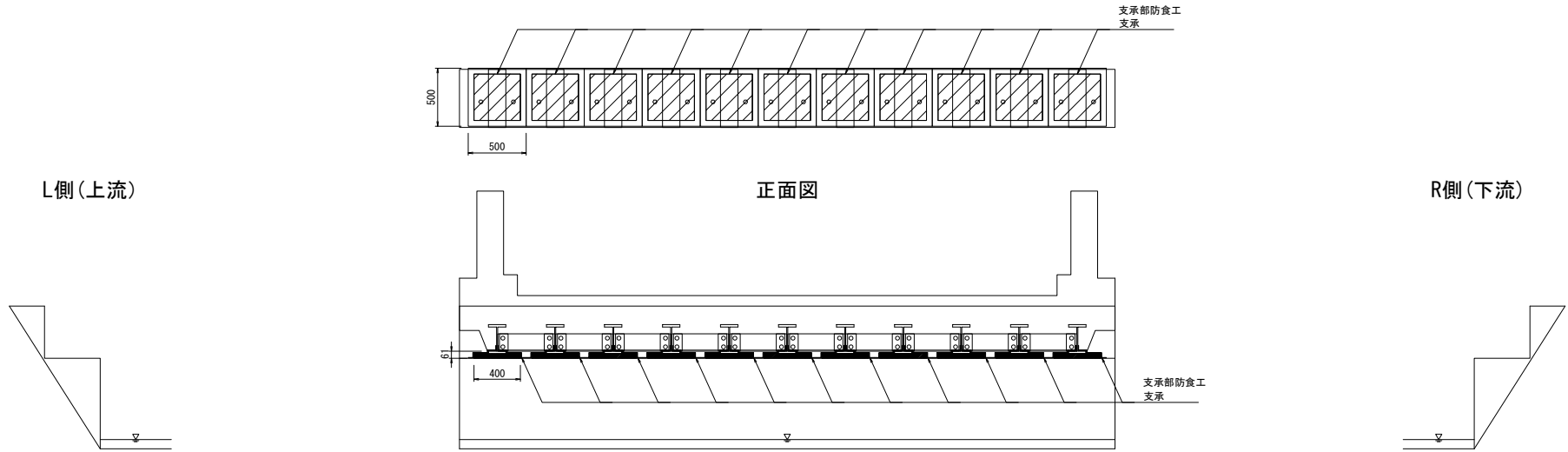
九条北小橋 補修詳細図 (その12)

支承部防食工

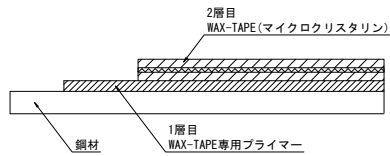
S=1:20

A2橋台

橋座面



WAX-TAPE システム断面図



※ ライニングシート工法は WAX-TAPE 同等品以上とする。

【支承部防食工フロー】

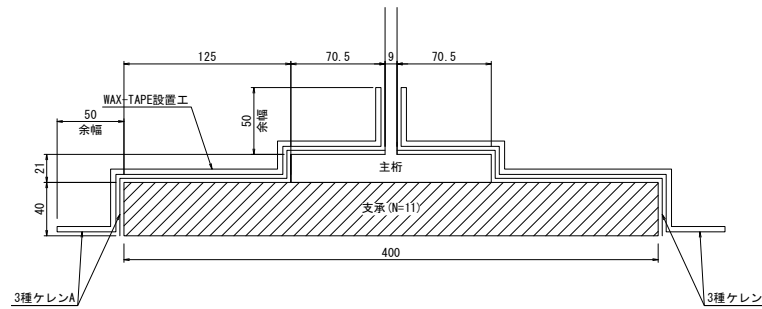


支承部防食工

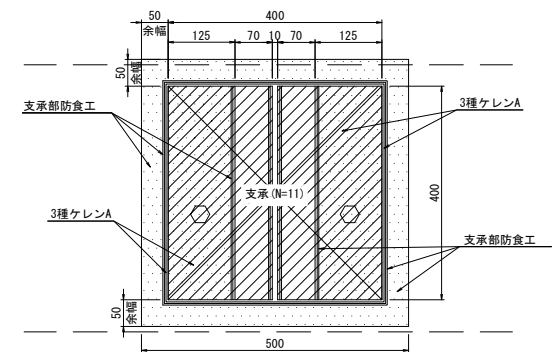
(A2橋台)

工種	名称	仕様	単位	数量	備考
支承部防食工	素地調整	3種ケレンA	m2	2.61	
	防食工	ライニングシート工法	m2	4.04	WAX-TAPE同等品以上

支承部防食工詳細図 S=1:2



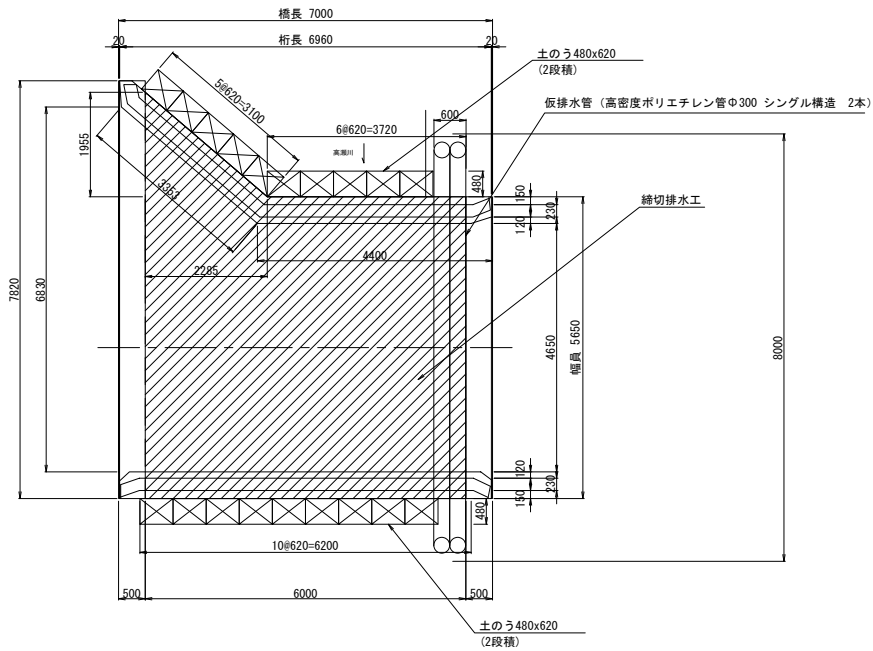
支承防錆工詳細図 S=1:5



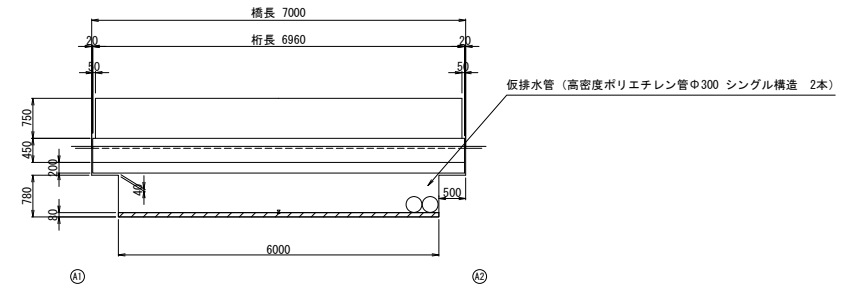
工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条北小橋 補修詳細図 (その12)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	29/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

九条北小橋 仮設工図 (参考図)

平面図(橋面) S=1:50



側面図 S=1:50



仮設工

名称	仕様・寸法	単位	数量	備考
土のう設置・撤去工	480(B)×620(L)	袋	38	
仮排水管	高密度ポリエチレン管φ300 シングル構造	m	16.00	8.00×2本

(注意事項)

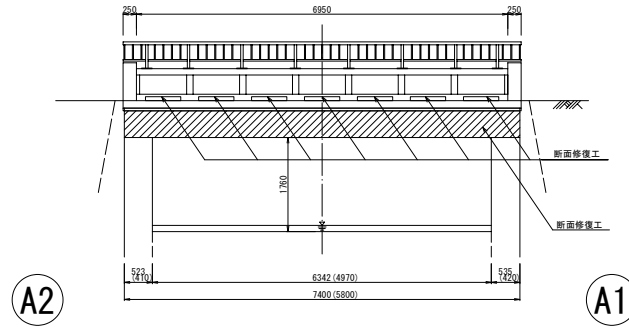
※ 本図面は、点検調査および現地計測による寸法を記載したものであり、設計に使用する場合には、当該部材寸法を再度現地計測する必要がある。

※ Ooのはつりガラが河川に流入しないように作業を行うこと。

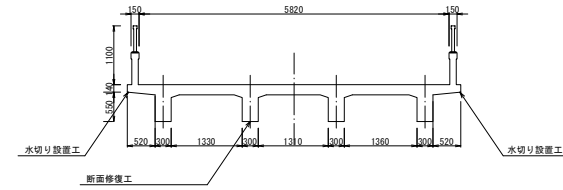
工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	九条北小橋 仮設工図 (参考図)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	30/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

仙石橋 補修一般図 s = 1:50

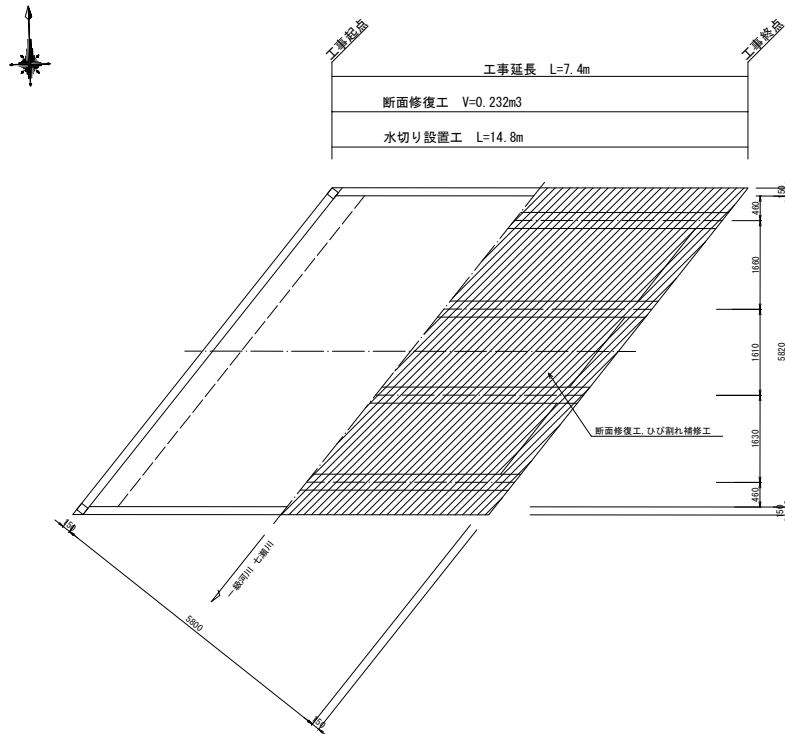
側面図



断面図



平面図



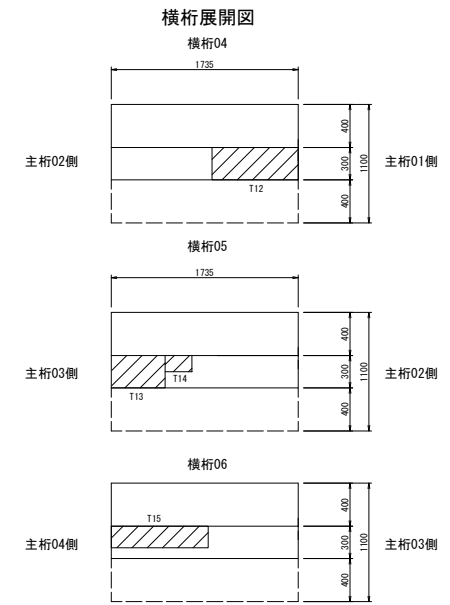
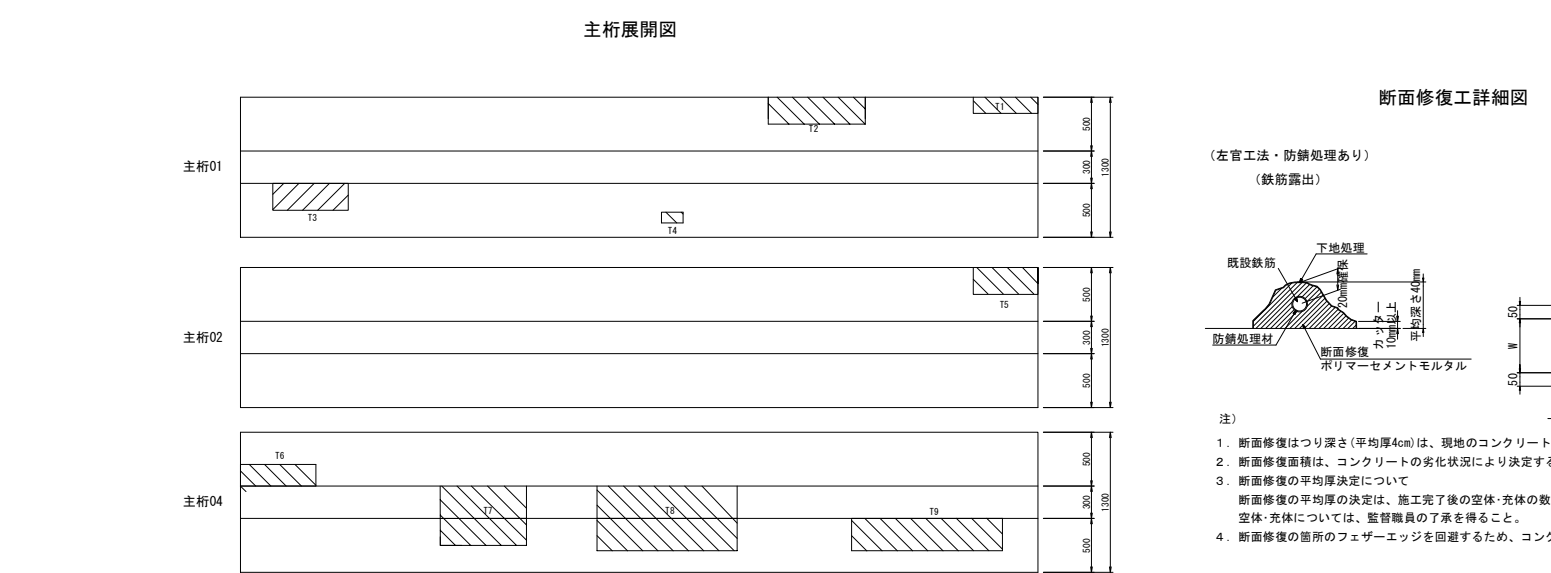
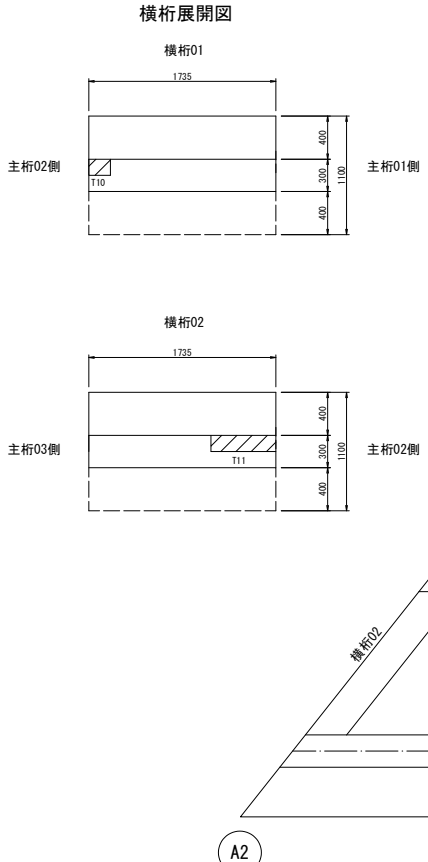
対象部位		損傷内容	補修項目
上部工	主桁・横桁・床版	剥離	断面修復工
	地覆	鉄筋腐食	水切り設置工

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	仙石橋 補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	1:50	図面番号	31/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

仙石橋 補修詳細図 (その1)

断面修復工

床板下面



数量表
床板・主桁・横桁

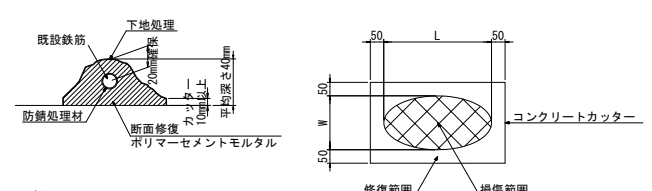
番号	W(mm)	L(mm)	面積 (m ²)	体積 (m ³)	防錆処理
T 1	150	600	0.090	0.0036	有
T 2	250	900	0.225	0.0090	有
T 3	250	700	0.175	0.0070	有
T 4	100	200	0.020	0.0008	有
T 5	250	600	0.150	0.0060	有
T 6	200	700	0.140	0.0056	有
T 7	550	800	0.440	0.0176	有
T 8	600	1300	0.780	0.0312	有
T 9	300	1400	0.420	0.0168	有
T 10	150	200	0.030	0.0012	有
T 11	150	600	0.090	0.0036	有
T 12	300	800	0.240	0.0096	有
T 13	300	500	0.150	0.0060	有
T 14	150	250	0.038	0.0015	有
T 15	200	900	0.180	0.0072	有
合計			面積 (m ²) 3.168 (防錆処理有)	体積 (m ³) 0.1267 (防錆処理有)	

損傷凡例



断面修復工詳細図

(左官工法・防錆処理あり)
(鉄筋露出)



注)

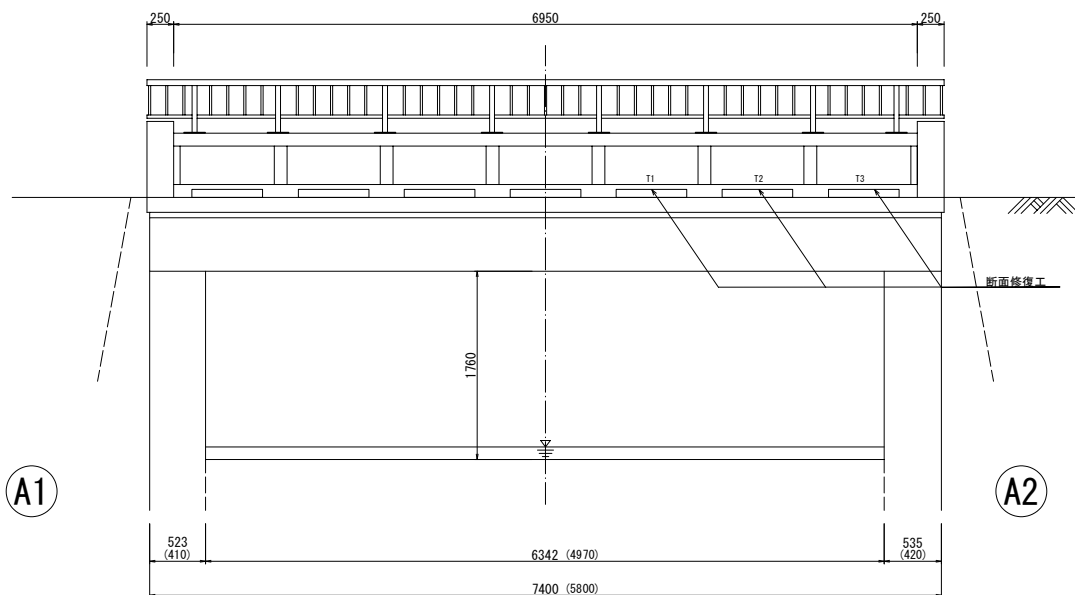
- 断面修復はつり深さ(平均厚4cm)は、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
- 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地に確認すること。
- 断面修復の平均厚決定について
断面修復の平均厚の決定は、施工完了後の空体・充体の数量により決定すること。
空体・充体については、監督職員の了承を得ること。
- 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

工事名	九条南小橋他3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内
図面名	仙石橋 補修詳細図 (その1)
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	32/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

仙石橋 補修詳細図 (その2)

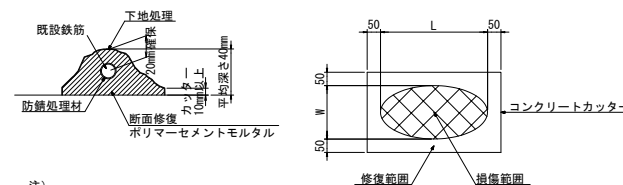
断面修復工

側面 (上流側) S=1:25



断面修復工詳細図

(左官工法・防錆処理あり)
(鉄筋露出)

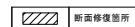


- 注)
- 断面修復はつり深さ(平均厚4cm)は、現地のコンクリート劣化状況により決定すること。
 - 断面修復面積は、コンクリートの劣化状況により決定するものとし現地にて確認すること。
 - 断面修復の平均厚決定について
断面修復の平均厚の決定は、施工完了後の空体・充体の数量により決定すること。
空体・充体については、監督職員の了承を得ること。
 - 断面修復の箇所のフェザーエッジを回避するため、コンクリートカッターで切れ目を入れること。

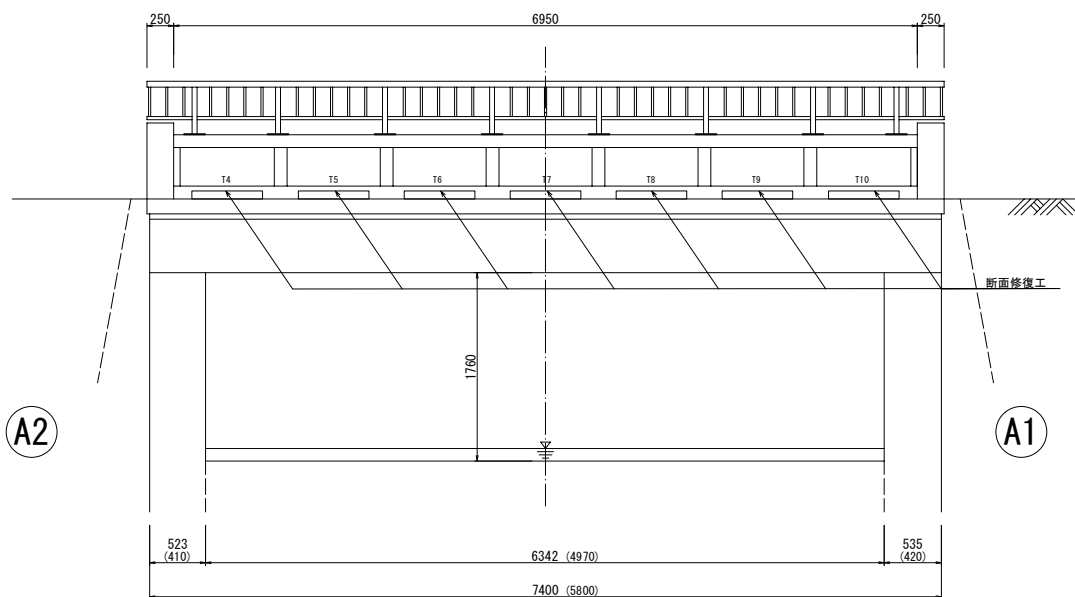
鉄筋露出 (T)

番号	W(mm)	L(mm)	面積(m ²)	体積(m ³)	防錆処理
T 1	400	660	0.264	0.01056	有
T 2	400	660	0.264	0.01056	有
T 3	400	660	0.264	0.01056	有
T 4	400	660	0.264	0.01056	有
T 5	400	660	0.264	0.01056	有
T 6	400	660	0.264	0.01056	有
T 7	400	660	0.264	0.01056	有
T 8	400	660	0.264	0.01056	有
T 9	400	660	0.264	0.01056	有
T 10	400	660	0.264	0.01056	有
合計			2.640	0.1056	

損傷凡例

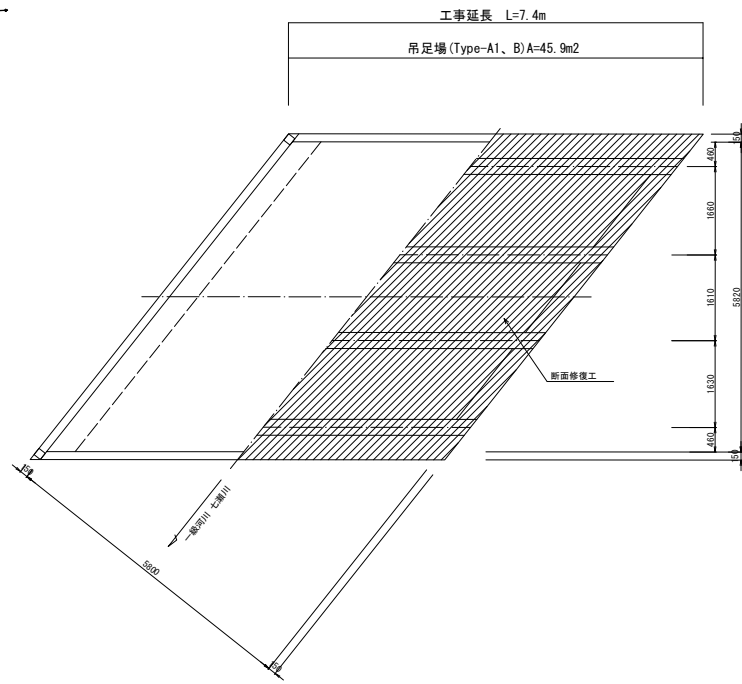


側面 (下流側) S=1:25

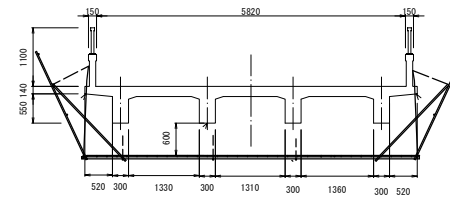


工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町地内		
図面名	仙石橋 補修詳細図 (その2)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	33/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

仙石橋 仮設工図 (参考図) S = 1:50



断面図



足場数量表

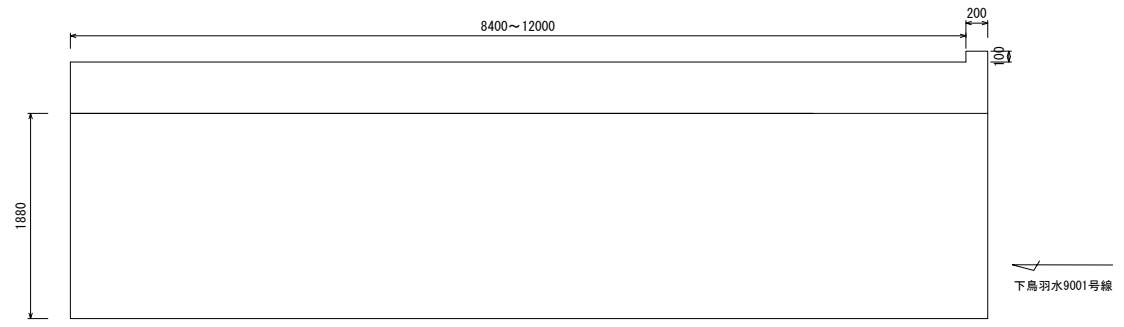
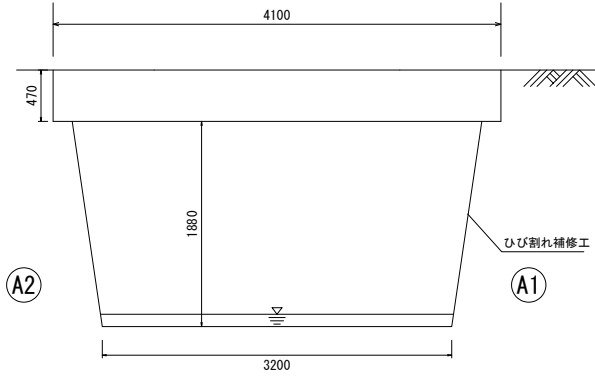
工種	種別	単位	数量	備考
吊足場	吊足場 (桁高 $h < 1.5$)	m2	45.9	吊足場・朝顔(両側朝顔) 板張防護工・シート張防護工・床面シート張防護工

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	仙石橋 仮設工図 (参考図)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	1:50	図面番号	35/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

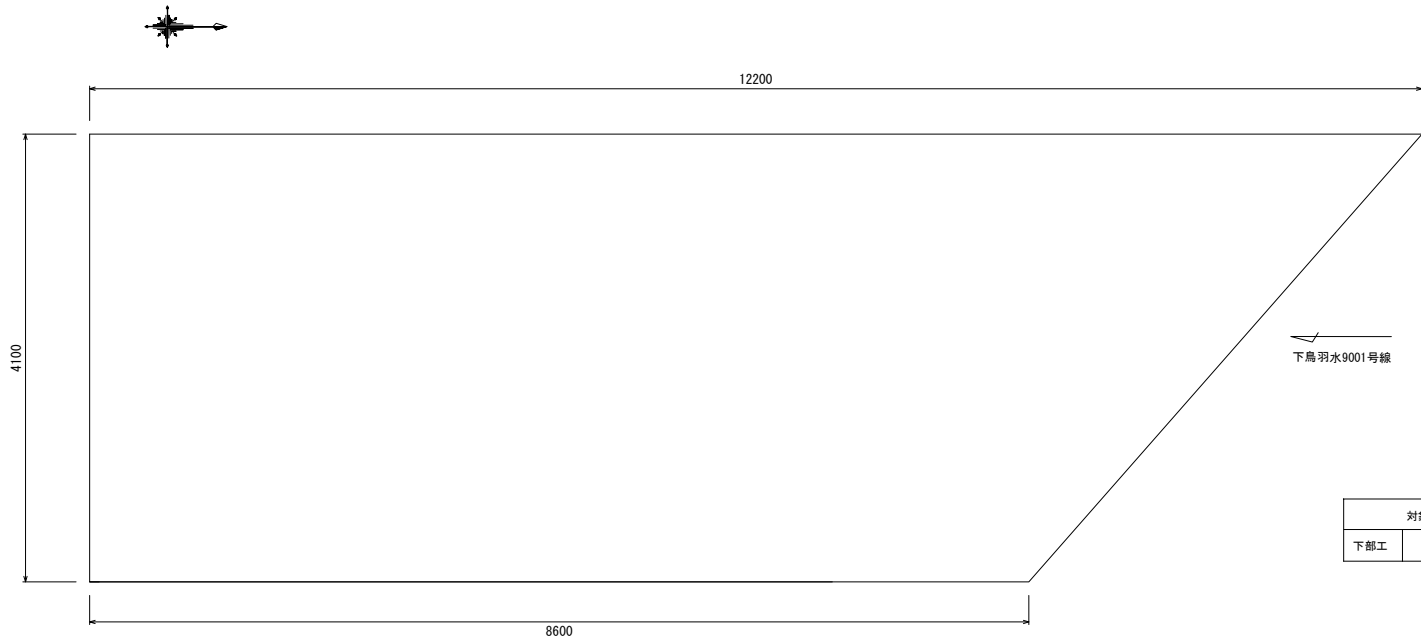
渡瀬橋 補修一般図

断面図 S=1:25

断面図 S=1:25



平面図 S=1:25



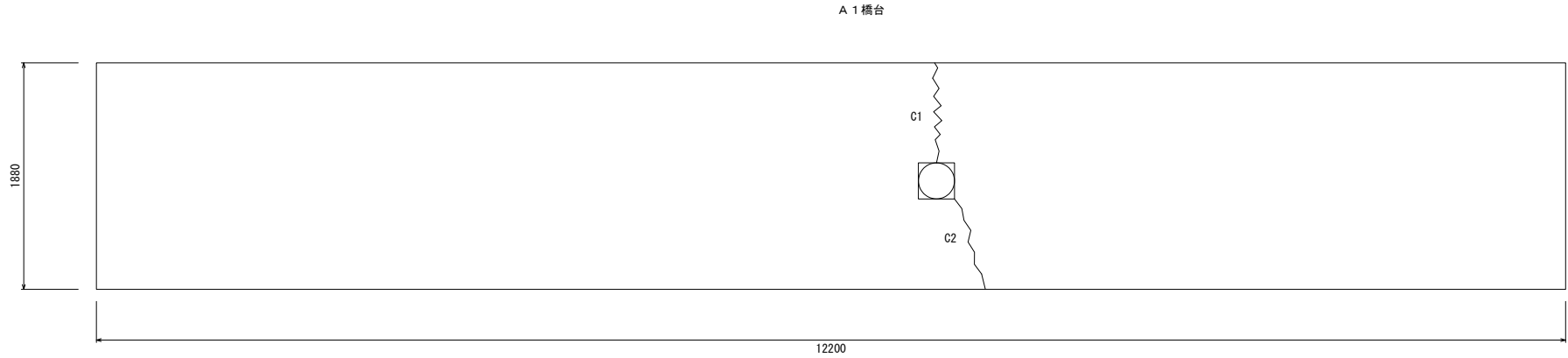
対象部位		損傷内容	補修項目
下部工	橋台	ひび割れ	ひび割れ充填工

工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	渡瀬橋 補修一般図		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	36/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			

補修詳細図

ひび割れ充填工

橋台 S=1:20



数量表

充てん工法
(W=1.0mm以上)

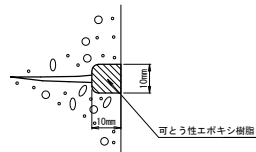
番号	W (mm)	L (mm)	備考
C1	10.00	900	
C2	10.00	700	
合計		1600	

損傷凡例

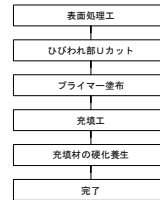
	充てん工法
--	-------

ひび割れ充填工詳細図

(ひび割れ幅 1.0mm以上)



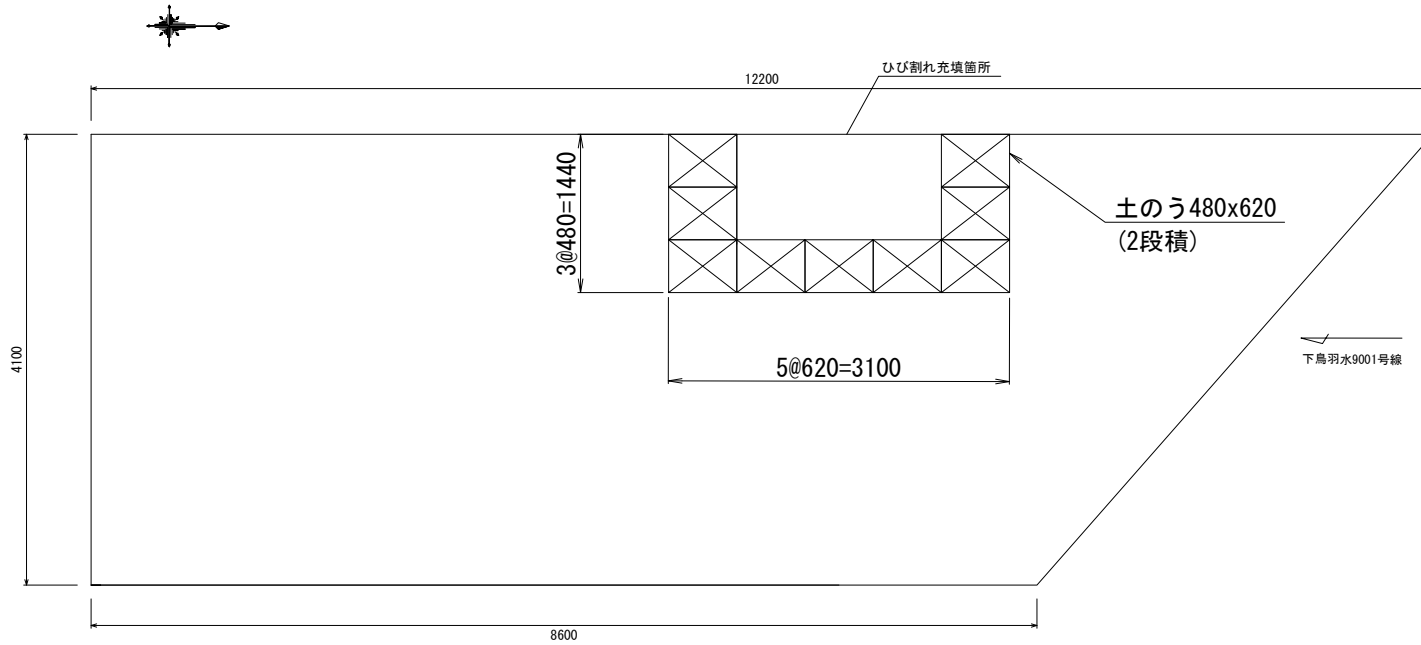
ひび割れ充填工施工手順



工事名	九条南小橋他3橋補修工事
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内
図面名	渡瀬橋 補修詳細図
事業年度	令和8年度
縮尺	図示
図面番号	37/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課	

渡瀬橋 仮設工図(参考図)

平面図 S=1:25



工事名	九条南小橋他3橋補修工事		
工事場所	京都市南区東九条河西町他地内		
図面名	渡瀬橋 仮設工図 (詳細図)		
事業年度	令和8年度		
縮尺	図示	図面番号	38/38
京都市建設局土木管理部橋りょう健全推進課			